



国際ロータリー第2660地区

地区委員会
活動報告書

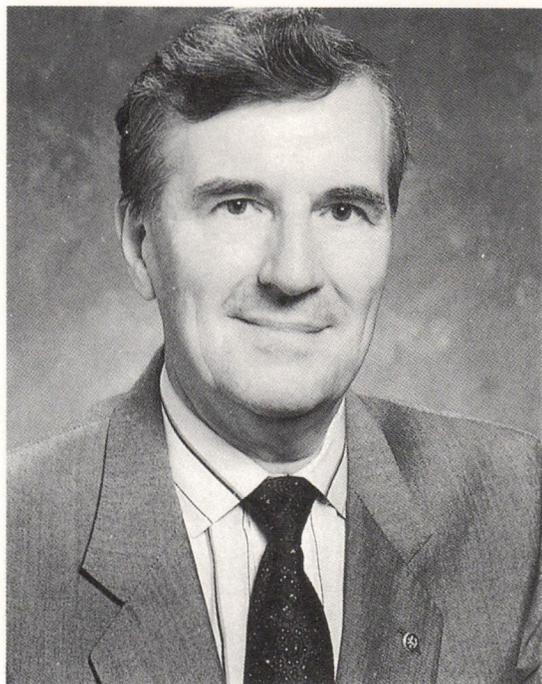
1994～95年度

ガバナー 中野董夫

1994～95年度 合同地区委員長会議
1995～96

1995年 5 月 27日(土)

於：薬業年金会館



ビル・ハントレー

1994～95年度国際ロータリー会長

B.H.

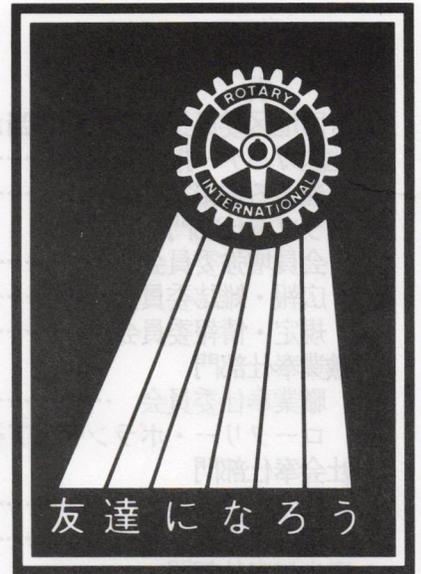
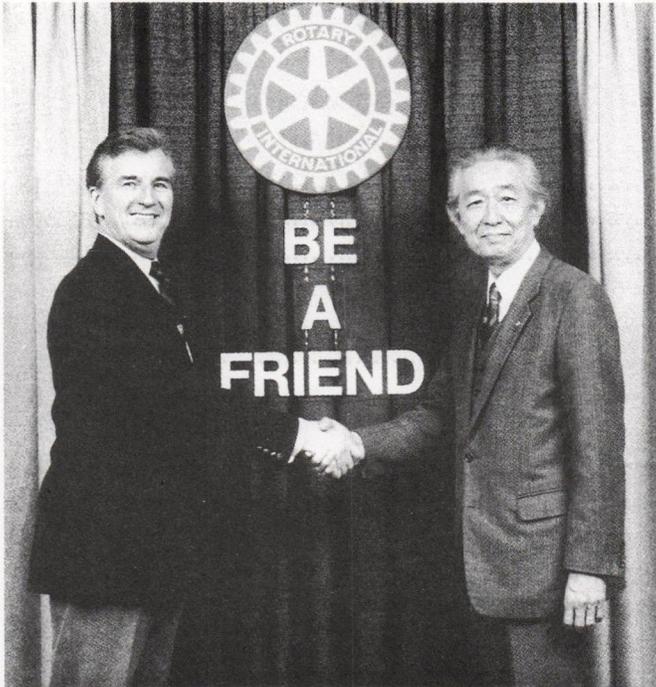
英国の詩人、ジョン・ダンが書いています。「人は独立自足の孤島でない。人は皆大陸のひとつかけら・・ただ本体の一部のみ……」。私たちは誰もが貢献を——個人として行動しながら、地域社会の発展に尽くすよう——求められているのです。しからばどのような心構えでこの帰属意識を養い、他の多くの人々に、より良い生活の機会を開いてあげられるのでしょうか？私の答は簡単です——勇氣と品性に訴えるのみ：友達になろう、と。

友達になるために組織は必要ありません。大抵の人は寛大な心づかいを見せてくれます。しかし特に私たちロータリアンは奉仕活動によって、人権尊重をひとりひとりの生活尊重にまで転化しなければなりません。いかなる地域のいかなる人々も、家族、近隣、学校、職場等あらゆる場所において、公正、機会均等、人間的品位を求めています。私たちが個人個人を尊重することが、すなわち地域社会に貢献する道なのです。

心からなる思いやりをもって友達同士集い、喜び、悲しみ、慰めを共にするとき、そこにコミュニティが生まれます。地元であろうと遠く離れていようと、私たちは地域社会の苦悩に気がきます。まさかのときに地域はその人々を助けるか、無視するか、どちらかでしょう。地域社会のリーダーとしての私たちの歴史を見れば、とりわけロータリアンたる者、誰でも、このまさかのときに立ち上がり、心を尽くして対応するのに、またとないうってつけの人物となるのです。ロータリアンになるのにプログラムは必要ありません。友達にさえなれば、それでこそ文字通りロータリアンなのです。私たちは、私たちの地域社会を強化、維持するために、力を尽くさなければなりません。

相共に友達同士肩を寄せ合えば、期せずしてそこにコミュニティが生まれるのです。友達は、希望を支え、信念を高め、身をもって愛を実践します。私たちのロータリー社会は、楽しむためだけでなく責務を引き受けるために存在するのです。ですから、私たちは持てる力のすべてを発揮しなければなりません。その力は援助を必要としている人のもとに私たちを押しやり、決して傍観させておかないでしょう。

いざ友よ、高き志あれ、活力あれ、優しき心あれよ。人皆すべて・・待ち受ける人々と、憧れ慕う人々と、苦しみ悩む人々と：友達になろう・・



BE A FRIEND

地元や職場で友達になろう

- 身をもって愛を実践することによって
- 家族と同僚との関係をより強化することによって
- 家族を亡くした人や孤独な人を慰めることによって
- あなたの思いやりを地域全体に広げることによって

地域の人々と友達になろう

- 地域の本当のニーズを見つけることによって
- プログラムを遂行し、共通の関心事において力を発揮することによって
- 帰属意識を養い、結束の強化を援助することによって

遠く離れた人々と友達になろう

- まだ出会ったことのない人々に友達として手を差し伸べることによって
- ロータリー財団を支援することによって
- 世界理解のために地域の関心事を世界の関心事にまで広げることによって
- 地域の努力を結集し、世界社会奉仕における世界的目標を達成することによって

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項目を鼓吹育成することにある：

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること；
- 第3 ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。

目 次

扉

目 次

合同地区委員長会議開催に当たって	1
地区ガバナー指名委員会	2
意義ある業績賞委員会	3
クラブ奉仕部門	
会員増強委員会	4
広報・雑誌委員会	5
規定・情報委員会	6
職業奉仕部門	
職業奉仕委員会	8
ロータリー・ボランティア委員会	12
社会奉仕部門	
社会奉仕委員会	13
環境保全委員会	15
青少年奉仕部門	
青少年活動委員会	17
ローターアクト委員会	19
インターアクト委員会	22
国際奉仕部門	
世界社会奉仕委員会	24
青少年交換委員会	26
国際交流・平和委員会	36
ロータリー財団部門	
ロータリー財団委員会	38
財団情報委員会	44
財団増進委員会	46
財団国際親善奨学金委員会	48
研究グループ交換委員会	50
財団学友委員会	52
米山奨学部門	
米山奨学委員会	54
拡 大 部 門	
拡大委員会	57
ロータリーの友	58
財 務 委 員 会	60
地 区 大 会	62
阪神地震災害救援対策委員会	64

国際ロータリー第2660地区
 1994~95・1995~96年度 合同地区委員長会議
 プ ロ グ ラ ム

1995年5月27日(土) 登録9:00~
 於 : 薬業年金会館 601号
 進行: 地区代表幹事 小山隆三

- | | | |
|-------------|--|--------------------------------|
| 9:30 | 閉会・点鐘 | ガバナー 中野 董 夫 |
| 9:30~10:00 | ロータリーソング「奉仕の理想」
挨拶 参加者・委員長紹介
挨拶 次年度委員長紹介 | ガバナー 中野 董 夫
ガバナー・ホニ 熊 澤 忠 躬 |
| 10:00~11:30 | 本会議 本年度委員会の活動について
指名/意義ある業績賞/クラブ奉仕
拡大/職業奉仕 | 各 委 員 長 |
| 11:30~12:30 | 休憩・昼食 | |
| 12:30~14:15 | 本会議 本年度委員会の活動について
社会奉仕/阪神地震災害救援対策委員会
青少年奉仕/国際奉仕/米山奨学 | 各 委 員 長 |
| 14:15~14:30 | 休 憩 | |
| 14:30~15:50 | 本会議 本年度委員会の活動について
ロータリー財団/ロータリーの友/財務
地区大会 | 各 委 員 長 |
| 15:50~16:00 | 謝 辞 | ガバナー・ホニ 熊 澤 忠 躬 |
| | ロータリーソング「我等の生業」 | |
| 16:00 | 閉会・点鐘 | |

合同地区委員長会議開催に当って

ガバナー 中野 董夫

新しいロータリー年度を間もなく迎える時期となりました。今年度の各委員会のご活躍のおかげをもちまして多くの成果を上げることが出来ました。ご担当の地区パスト・ガバナー、委員長を初めとして委員の皆様にご心より感謝申し上げます。

今年の1月17日には兵庫県南部地震が発生し、阪神間と淡路島に大震災を蒙りました。その際、大きな被害があり多くの犠牲者を出したことはまことに心の痛む出来事でありました。そのために中止をやむなきに至った行事もありましたが、今年度のロータリー・テーマ『Be a Friend』を実行にうつし、各クラブ並びに各会員の皆様がボランティア・サービスをお励み下さいましたことは、大変感銘深いことでありました。また、義援金の拠出をお願い致しましたところ早速多額のご寄付をいただき、本当にありがとうございました。更に、臨時の委員会として「阪神地震災害救援対策委員会」を職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕の三地区委員会で構成していただき、短期間に何度もご参集され、活発にご活躍下さいましたことも誠に感謝にたえません。この委員会は来年度に引き継がれることになりました。

本日は今年度の各委員会の成果のご報告を願うわけではありますが、本年度の成果を踏まえたうえで、新年度のご計画を新しい企画でお立て下さることを期待申し上げます。

新年度にむけて熊澤忠躬次期ガバナーは意欲的にさまざまな新しい計画を立てておられるご様子です。各地区委員会でもアイデアをねっていただき、新しい計画を立案し、実行していただければ、次年度も素晴らしい成果をあげることが出来ることとしますのでよろしくお願い致します。

今年度地区のために貴重な時間をさいて奉仕していただきました地区委員会の皆様にご心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

地区ガバナー指名委員会

委員長	中野董夫(大阪阪南)	委員	古田敬三(大阪)
委員	伊瀬芳吉(池田)	同	武尾敬之助(大阪西北)
同	種田憲次(大阪住吉)	同	廣瀬勘一郎(大阪西南)
同	戸田孝(八尾)	同	菅生浩三(大阪北)
同	中村俊一(東大阪)	同	山中文和(大阪南)
同	坂東宏(吹田)	同	大森慈祥(茨木)
同	松本良諄(大阪東)		

- 1) 地区ガバナー指名委員会規約に基づき、ガバナー月信第2号において、1997～98年度ガバナー・ノミネー候補者の指名案を各クラブより提出するよう要請し、その最終期限を9月末日とする。
- 2) 別に10月1日以後、早い時期に指名委員会を開催し、候補者を指名をすることとし、ガバナー月信第6号乃至第7号で公表、第7号または第8号を以てガバナー・ノミネーの宣言を行う。

意義ある業績賞委員会

委員長 中野 董 夫 (大阪 阪南)

委員 山 中 文 和 (大阪 南)

同 大 森 慈 祥 (茨 木)

1) ガバナー月信第2号において、選定基準と委員会に関する発表を行い、申請期限を10月末日とすることを公示する。

(申請手続きについては1992年版手続要覧53～54頁参照)

2) 12月1日までに選考委員会を開催し、5クラブまでを限度として、受賞クラブを選び、ガバナーに申達する。

3) 各ロータリー・クラブに対して、巾広い奉仕活動の実践につき積極的に申請することを勧奨する。

ク ラ ブ 奉 仕 部 門

担当パスト・ガバナー大 森 慈 祥 (茨 木)

会 員 増 強 委 員 会

委員長 山 崎 啓 一 (大 阪 平 野)
副委員長 八 田 昌 三 (豊 中 南)
委員 西 村 淳 (大 阪 平 野)
同 高 田 克 明 (茨 木)
同 田 中 研 一 (大 阪 東 南)

中野ガバナー、大森パスト・ガバナーのご指導をいただき、阪神大震災の余韻醒めやらぬ1月27日(大阪市内クラブ)2月1日(衛星都市クラブ)の両日、地区会員増強懇談会を開催いたしました。地区当委員会委員の熱心な協力により、事前に過去5年間に亘る、会員増強の推移を調査致しました。

本年度特に着目すべき事象として

1) 既存クラブ会員の減少傾向。

退会防止対策も大事ですが、入会者数の減少傾向が顕著である点が、従来と異なってきている。

2) 既存クラブで、女性会員の入会が促進されつつある。

この傾向は、今後波及的に拡がっていくものと思われます。

以上であります。この様な現状から、各クラブにおかれましては、増強の現況を厳しくご認識いただくと共に、新しい時代の潮流に逆らうことなく、一段と幅広い視点に立つての増強の推進が、緊急かと思われます。

広報・雑誌委員会

会員委 謝辭・家 誌

委員長 清野耕作(茨木)

副委員長 竹田正司(大阪心斎橋)

委員 福西幸夫(大阪心斎橋)

同 木戸栄久(大阪)

同 小松陽一郎(大阪阪和)

同 木村孝(大阪北)

年度方針として、下記の4項目を揚げ、活動に入った。

- 1) クラブ広報委員長会議の開催
- 2) 報道各社との懇談会
- 3) ロータリー広報ニュースの発行
- 4) ビデオスライド銀行のPR

年度の早い段階に於て、会議を開き推進の予定が、調整不調の為、委員長会議の開催が11月にくい込み、アンケートに基づく要望その他について解説を行い各クラブからの意見聴取の後、懇談に入り、(2)項目に揚げた報道各社との懇談会については、無意味であるとの意見があり、マスコミ各社との懇談については、これを断念し、現在各クラブで取組んでいる行事について広報すべき点について連絡を頂きたい旨の申し入れをしたが、特別なこともなく推移。雑誌委員長会議を開催すべく日時を調整中、震災に会いその機を失し、4月の雑誌月間を目標に3月3日委員長会議を開催。担当大森パスト・ガバナーのご尽力により、ロータリーの友委員長、板橋パスト・ガバナー(足利東RC)のご出席を頂き示唆にとんだご講演をいただいた。

雑誌月間には各クラブからの卓話申し込みについて、大森パスト・ガバナー、佐藤ロータリーの友委員はじめ、委員の方々のご協力を頂いた。

年初に計画したことが何一つ出来ず、全く無為に過ごした感である。ビデオスライド銀行については、ガバナーマンスリーに広報させて頂いたにとどまる。

規定・情報委員会

会員委員会・幹事

委員長	土井正裕	(大阪北)	[卓話銀行担当]
副委員長	大原健司	(大阪東)	伊藤徳次郎(吹田)
委員	赤根賢治	(大阪阪和)	橋本崇志(大阪北)
同	田中寿秋	(大阪なにわ)	小林勝(大阪ちゃま)
同	向井伸太	(東大阪)	[文献担当]
同	島津禮次	(茨木)	四稜行雄(大阪阪南)

1) 規定審議会関連事項など

a) 開催前の活動

イ) 第1回クラブ規定情報委員長会議を8月27日に開催し、1995年1月23～26日にベネズエラのカラカスで開かれる規定審議会の概要および本年度の地区委員会の活動計画について説明した。また、規定およびロータリー情報に関するクラブの質問に答えた。

ロ) RIから送付された規定審議会に提案された制定案(当時148件)について、古田パスト・ガバナー(地区代表議員)を中心に、土井委員長、大原副委員長、村岡地区幹事等5名で9月下旬～10月下旬に3回にわたり検討し、その結果を11月16日に地区規定情報委員会に報告した。

ハ) 第2回クラブ規定情報委員長会議を11月30日に開催し、規定審議会に提案された主な立法案を説明し、クラブの質問に答え、各案件についての賛否を地区へ提出されるようお願いした。

ニ) 各案件に関するクラブの賛否を集計し、12月19日に古田パスト・ガバナーに提出した。

ホ) RIから送付された制定案(追加)および議決案について、1月11日に、古田パスト・ガバナー(地区代表議員)、土井委員長および大原副委員長が検討した。

b) 開催後の活動

イ) 地区委員会を2月24日に開催し、古田パスト・ガバナーから、規定審議会の状況と提案案件の採否(採択された制定案22件、同決議案9件)について説明をお

聞きした。

ロ) 第3回クラブ規定情報委員長会議を4月3日に開催し、古田パスト・ガバナーから規定審議会の状況についてご報告をいただいた後、採択された主要案件について土井委員長が説明し、質疑応答を行った。

2) 卓話銀行利用状況

	登録講師数	利用講師数	利用回数	利用クラブ数
一般講師	45人(38)	16人(15)	21回(20)	
ロータリアン講師	30(30)	14(15)	22(18)	
計	75(68)	30(30)	43(38)	17(21)

(注) 括弧内は、前年度(1993~94年度)実績。

職 業 奉 仕 部 門

担当パスト・ガバナー松本良諄(大阪東)

職 業 奉 仕 委 員 会

委員長	浅 沼 清太郎(大 阪)
副委員長	北 村 巖(大 阪 梅 田)
委員	河 上 英 夫(大 阪 東)
同	久 我 三 郎(大 阪 南)
同	柿 木 清 司(大 阪 阿 倍 野)

1) 職業奉仕の本質についての認識

職業奉仕は、会員個人個人が企業における職業活動において常に職業倫理の向上を目指し活動する、ロータリー活動中最も基本的で重要な奉仕活動であり、クラブは会員のこの活動を鼓吹育成する任務を担っている。

2) 本年度活動事項

(1) 卓 話

ア) 職業奉仕の意義・会員個人の職業倫理

職業宣言、社是・社訓、道徳律等

イ) 四つのテストの推進

ウ) 交通事故防止・違法駐車問題

エ) 事業所におけるゴミ処理問題

オ) 企業におけるボランティア

等について、主としてクラブ職業奉仕委員長による卓話を実施した。

(2) 交通事故防止・違法駐車問題に対する取り組み

1990～1991年度地区大会で取り上げられた都市交通問題、特に違法駐車問題の解決に向けての具体的な活動を次のとおり実施した。

ア) 事業所における活動

①めいわく駐車追放モデル事業所宣言の実施

②駐車スペースの確保対策の推進

③違法駐車追放のための広報・啓発活動の推進と各種行事への参加

等関係行政機関とタイアップした活動を展開し、違法駐車問題への改善意識の高揚を図った。

イ) 春の全国交通安全運動初日行事への参加

1995年5月11日(木)、大阪城大手前公園広場において、大阪府交通対策協議会(会長・大阪府知事)主催の初日行事のセレモニー及びパレードに、30クラブ、35名のクラブ職業奉仕委員長等が参加した。

(3) 企業におけるゴミ処理問題に対する取り組み

企業におけるゴミ処理問題についての現状及び対応等について、その実態を認識し、改善意識の高揚を図るため、

ア) 再生紙の使用等を中心とした資源保護意識の高揚

イ) 管理計画の作成と管理体制の整備

ウ) 講習会への参加・社内研修の実施

等を推進した結果、再生紙の使用や一般廃棄物の社内回収の実施など、企業努力が見られたが、今後とも資源の大切さや不必要なゴミを出さないといった社員教育の徹底等、継続的な施策の必要性を痛感した。

(4) 職業奉仕活動に関するアンケートの実施とクラブ職業奉仕委員長会議の開催

1994年8月「クラブ職業奉仕活動に関するアンケート」を実施し、調査結果を同9月3日(土)のクラブ職業奉仕委員長会議の席上で説明した。

ア) 開催場所 葉業年金会館

イ) 出席者 松本パスト・ガバナー 各クラブ委員長

ウ) 議事内容 10月の職業奉仕月間行事を控え、各クラブのより良い職業奉仕活動の一助になることを期し、事前に各クラブ委員長に対しアンケートを実施し、職業奉仕とは何か、職業奉仕活動としてクラブは何をなすべきかなど次の点に力点を置いた、クラブ職業奉仕委員長会議を開催した。

①職業奉仕についての解説（松本パスト・ガバナー）

ロータリー誕生の初期に早くも職業奉仕の神髄を表した、

- ・ 奉仕に徹する者に最大の利益あり
- ・ 奉仕だ、自己でない。自己を超越した奉仕

の2つの標語が唱えられ、現在もこれがロータリー標語として用いられていること、職業倫理訓として1915年には道徳律、1929年世界大恐慌のとき、テーラー1954年RI会長が、シカゴで瀕死の状態のアルミ食器製造会社を再建させたときの社内倫理訓をRI会長時に再びターゲットとして掲げ、それ以来座右の銘として用いられるようになった四つのテスト、規定審議会で、1980年道徳律が削除されたことを受け、1989年職業宣言が採択されたことなどの解説により、職業奉仕とは何かについて分かり易く説明が行われた。

②「職業奉仕活動に関するアンケート」結果

78クラブ中74クラブの回答があり、主な質問と回答状況は、次の通りであった。

問 職業奉仕活動の実効へ向けた活動計画の有無

答 ・有る 65名(88%) ・無し又は検討中9クラブ(12%)

問 「不況下で退会も考えているとの意見もあるが。」

答 ・「退会しても問題解決にならない、継続すべきである」「原点に帰り職業奉仕を考えるべき。」等 44名(59%)
・何とも言えない。 9名(12%)
・退会やむなし。 8名(11%)
・その他 13名(18%)

また具体的な活動としては、ほとんどのクラブから引き続いて違法駐車問題や企業におけるゴミ処理問題に取り組むとの回答があった。

エ) 配付資料

①職業奉仕活動に関するアンケート調査結果

②「むつかしくはないヴォケーショナル・サービス」

(5) 阪神・淡路大震災の教訓を公述

1995年2月8日(水)に開催された第132回国会衆議院予算委員会公聴
に浅沼職業奉仕委員会委員長が公述人として出席し、

- ア) 国家的プロジェクトによる危機管理体制構築の必要性
- イ) 大地震発生時における初動態勢の教訓と重要性
- ウ) 「関西に地震無し」の安全神話の崩壊と予想を超越した大規模地震の発生
- エ) 現地指揮本部(司令塔)の初期機能のあり方と市民の期待
- オ) 広域ブロック防災体制の早期確立
- カ) 公共事業費の重点的・集中的投入

等を公述した。

この要旨(公聴会議録)を1995年5月12日(金)の地区大会部門別懇談会
で資料として配付するとともに、今後のロータリアン活動と関連づけて説明した。

(6) 地区大会部門別懇談会、クラブ職業奉仕委員長会議を介しての督励活動

- ア) 職業奉仕の意義等
- イ) ロータリー誕生の由来

等について説明し、各クラブでの積極的な取り組みかたを督励した。

以上

ロータリー・ボランティア委員会

委員長 杉本久仁一(八尾中央)

副委員長 岡本克持郎(大阪城南)

委員 松岡晃一郎(大阪うっぼ)

同 長 澤 彰(豊中千里)

同 小池 明(茨木)

活動の概要

当該年度は本委員会発足6年目となるが、当初活動計画に従い、引き続き地区内ロータリアンほかに対してのボランティア登録の呼びかけを行い、又クラブ相互間の連携の下でロータリー・ボランティア奉仕プログラムの実施を要望したがこの点での実現は得られなかった。

なお、地区委員会は年度内において計4回招集、各クラブに対してはRVについてその構成、活動の現況、意見等についてのアンケートの提出を求め、1994年9月22日クラブボランティア委員長(担当者)会議を葉業年金会館において開催、56クラブの出席があった。

現在地区へ報告されて居るロータリー・ボランティア登録者累計は国際1名、国内109名である。

年度後半冒頭において阪神大震災が発生し、当委員会としてその対応に苦慮したものの特に初期段階では各ロータリークラブとも目ざましい救援活動を実施して居られる事、混乱を極めた現地の状況その他から、敢えて地区当委員会としての整合性を持った救援活動その他についての指針は発給しなかった、反面、上記等各クラブサイドでの震災救援ボランティア活動について該当するロータリアンほかの実績の推薦を各クラブに求めたがこれについて計5名の推薦が有り、この内若干名を表彰対象ロータリアンとしてガバナーに報告した。

社会奉仕部門

担当パスト・ガバナー 廣瀬 勘一郎 (大阪西南)

社会奉仕委員会

委員長	大橋	融	(大阪北淀)
アドバイザー	新津	敬直	(大阪西)
副委員長	芝	盛久	(箕面中央)
委員	福田	守	(大阪阪和)
同	村岡	大輔	(大阪西)
同	平川	恵一	(大阪北)
同	山野	謹五郎	(大阪梅田東)
同	甚田	倫弘	(豊中千里)

今年度は、各クラブが地域社会のニーズを的確に把握し、地域に密着した自主自助の奉仕活動を推進する事を目標に、その実践に努めてまいりました。また、平成7年1月17日未明の阪神大地震に対しては、早速に被災者への救援対策委員会が設置され、各クラブ、個人ともに見事な奉仕精神を発揮し、救援活動に取り組んで頂きました。

〈人間尊重〉

1) 高齢者への心遣い

- ア) 卓話に区長を迎え、行政の高齢者対策のお話を聞く。
- イ) 高齢者の自転車事故防止のため、反射ステッカーを作成、取り付けました。
- ウ) ひとり暮らし老人宅の安全のため、漏電遮断器を設置しました。

2) 高齢者の作文・審査・表彰 (6回目)

中西喜美子さんの「窓辺より外を見る楽しみ」が受賞。季節の美しい草花の描写と共に、娘さんの茶断ちの話に心うたれました。

3) GSC ロータリアンの70歳以上の高齢者の交流

関西フィルハーモニー演奏会招待。

4) 障害者の問題

- ア) 障害児をイモ堀りに招待。親子キャンプを実施。
- イ) 精神障害者バザーへの参加。

〈地域発展〉

- 1) 東大阪クリーンキャンペーン「八尾のいい音風景フォトコンテスト」を共催。
 - 2) 母子家庭の団体と協賛し、20名の母子をヨットクルージングへ招待。1日父親では、貴重な体験をしました。
 - 3) 古毛布200枚を、日本救援センター等へ寄付。
 - 4) 心身障害者たちのビデオ「車いすの大冒険」等を購入し、貸し出す。
- 上記の様に、各クラブで地域のニーズに応えた人的奉仕活動を実践して頂きました。

〈協同奉仕〉

1) 海遊館へのご招待

60歳以上のお年より301名とロータリアン126名で実施。「ゆっくり見学という事がなによりでした」と、多数の感想文が寄せられています。

2) 身障児等とロータリアンとの仲良し運動会

第3回目の今回は、中野董夫ガバナーをお迎えし、又、阪神大地震の被災児たち多数を招待して、身障児と共に元気一杯の交流の輪が広がりました。第2660地区全クラブのご理解を頂き大成功に終える事ができました。

〈阪神大地震救援対策〉

災害規模の拡大の中、緊急対策会議がもたれ、災害救援対策委員会が設置されました。(別掲)各クラブや個人では職業を生かしたり、創意工夫の緊急支援活動を被災地で展開して頂きました。

環境保全委員会

委員長 遠藤 渉 (大 阪)

副委員長 栗田 徹也 (大 阪 南)

委員 岡部 次郎 (箕 面)

同 藤江 正謹 (大 阪 阪 和)

同 南 克昌 (大 阪 南 西)

同 櫻井 勲 (大 阪 本 町)

前年度に引き続き、本年度も各クラブでそれぞれ自主的に実践活動をしていただくことを基本方針とし、地区委員会としては情報の提供、クラブ委員長会議開催、研修見学会等を実施した。

◇アンケートの実施

9月実施。各クラブの活動状況・意見等を集約し、クラブ委員長会議において参考に供した。

◇クラブ委員長会議 (1994. 11. 28)

本年度は、環境保全の内、水質保全をテーマに取り上げ、大阪市水道局水質試験所長梶野 勝司氏を講師に招き、「淀川の水質の現状について」の講演を聴取し、水道当局が水質保全に果たす役割について認識を深めた。また、アンケートの集約を踏まえ、各クラブの活動状況、ご意見等を紹介してクラブ活動の参考に供した。

◇研修見学会 (1995. 4. 13)

今年度は、大阪市東淀川区にある市立柴島浄水場を見学した。78クラブより64名が参加。施設の説明を受け、解説映画で更に理解を深めた後、現場施設を実地に見学した。

地区委員会としては、後日各クラブが単独で同様の見学会が企画される場合も受け入れていただける施設を選定した。

◇地区環境保全委員会の経過 (まとめ)

地区環境保全委員会は、第1年度から第3年度までは、主として、廃棄物の内、ごみ問題をとり上げるとともに、特に、『ロータリーと環境問題』という冊子（各クラブの活動推進のための手引書）を作成し、環境問題全般のガイドラインを情報として提供した。

第4年度は、ガイドラインの線に沿って水質汚濁防止をテーマに取り上げ、下水道に関する講演を聴取するとともに、大阪市立中浜下水処理現場の現地見学会を実施した。

第5年度に当たる本年度は、水質保全をテーマに取り上げ、淀川の水質の現状についての講演を聴取するとともに、大阪市立柴島浄水場の現地見学会を実施した。

以上5年間、環境保全の内、家庭から排出されるごみ問題、家庭から排出される下水道問題、家庭での飲み水の水質問題といった極めて身近な問題でありながら一日もゆるがせに出来ない切実な環境問題を取り上げて参りました。

青少年奉仕部門

担当パスト・ガバナー 菅生 浩三 (大阪北)

青少年活動委員会

委員長	西 正中	(大阪城北)
副委員長	板垣美一	(大阪住吉)
委員	有賀一夫	(大阪住之江)
同	三好勝	(大阪天満橋)
同	藤満宣夫	(千里)
同	山口愛彦	(四條畷)
同	垣内康弘	(大阪みなと)
同	石田豊司	(大阪北)
同	澤井正寛	(吹田西)

1) 少年少女ニコニコキャンプ (ホスト 大阪天満橋ロータリークラブ)

8月5日～7日まで2泊3日、今年度は大阪府豊能郡能勢町の大阪府立総合青少年野外活動センターで開催し、参加児童は74名。14名のローターアクターがサブリーダーとして児童の世話をした。入所式の後、リーダーの自己紹介、班別に班旗の作成でプログラムがスタート。同じ班には同じ学校の児童はできる限りいれないので、少し不安な様子でしたが、すぐ「友達」になっておおはしゃぎ。

このキャンプでは班名も、リーダー名も少年少女たちの名前もみんなニックネーム。

1日目 夕食後、天体星座観測、肝だめし。さすがに星空が美しく、流れ星に歓声。肝だめしが怖かったのかトイレに行くのも班別に並んで・・・。

2日目 午前6時起床。いつもより早かったのか眠そうな児童もいたが、朝の集いでは元気いっぱい体操をして、目もパッチリ。オリエンテーリングでは、約300mの頂上まで班対抗、キャンプ場に戻ってきた児童は表情もさまざま。午後はグループ別に

ディスクゴルフ・クラフト・川遊び・アーチェリー・自然観測等のプログラムに取り組む。

夕食は野外バーベキュー、自分たちで焼いてお腹いっぱい食べて、夜は楽しいキャンプファイア。インディアンワールドの名にちなんでインディアン風の儀式から始まり、火の神さまを呼び出し、薪に点火の後、リーダーの指導でゲームと歌とダンスを楽しむ。

3日目 朝の集い、朝食の後に記念品の焼き板作りに熱中する。退所式では営生PGの挨拶の後、児童一人ずつに賞を授与した。児童たちはリーダー、ローターアクター、キャンプで仲よくなった友だちの住所を聞いたりして、来年も参加したいという児童も多く、さまざまな体験と楽しい思い出を作りました。

2) ライラ (青少年指導者養成セミナー)

1. 山のライラ (ホスト 千里ロータリークラブ)

9月23日～25日、能勢の大阪府立青少年総合野外活動センターで開催された。参加青少年125名、登録ロータリアン363名。

開講式と特別講演を研修会場とは別の千里ライフサイエンスセンターライフホールで行い、ロータリアンは講演までの参加とするという初めての試み。

特別講演は「井上成美 (日本最後の海軍大将) を語る」と題して、国立循環器病センター総長尾前照雄先生がリーダーとリーダーシップについて語られ深い感動を呼びました。

研修プログラムでは星座の観察と講話や、「救急看護法」の実習などに取り組みました。自主運営に任せるということにしましたが、概ねうまくいったようです。

2. 海のライラ (ホスト 大阪みなとロータリークラブ)

5月3日～5日、大阪府泉南郡岬町淡輪の大阪府立青少年海洋センターで開催する予定でしたが、阪神大震災が起こって、ホストクラブのメンバーにもかなりの被災者があり、また社会状況も配慮して中止することになりました。代わって大阪府青少年財団が主催する被災した子どもたちを対象にした「元気が出るキャンプ」に協賛することとしました。

ローターアクト委員会

委員長	北村英一	(吹田)
副委員長	伊藤七郎	(大阪東)
委員	青木達也	(大阪西南)
同	飯原弘章	(大阪住吉)
同	小西眞明	(寝屋川)
同	服部修	(枚方)
同	立野純三	(大阪)

1) 活動報告

①地区3ゾーン分割

従来大阪、北大阪の2ゾーンに分かれていたが、3クラブ増加に伴い3ゾーンに分割した。地区役員としてゾーンに代理を1名増員した。

大阪北ゾーン：池田、茨木、高槻、守口、寝屋川、枚方、吹田、大阪空港
(8クラブ)

大阪中ゾーン：大阪、大阪東、大阪西、大阪北、大阪天満橋、大阪淀川、
(7クラブ) 大阪梅田

大阪南ゾーン：大阪南、大阪西南、大阪住吉、東大阪、大阪平野、東大阪東、
(7クラブ) 八尾東

②会員増強

RACの発展の為には1にも2にも増強をはからねばならないが、退会者も多く現在は435名で昨年に比べ横ばいの状態である。しかしアジア第1、第3ゾーン33地区内では、第2640地区に次いで2番目の高位を保持している。

③海外研修

昨年に続いてなじみ深い香港と経済特区として発展著しい中国深圳を訪問した。参加者RAC21名、RC2名計23名。共に急激な変化の中で、将来のあり方に内包する問題点をとらえる収穫も得られた。香港RACとの交流も年を重ねる毎に親密度を増して来た。

④阪神大震災の救援

1月17日未明の直下型地震による阪神間の大災害の情報が伝えられると共に、当地区RACは直ちに災害現場に入り被災者救援活動を行った。各地の避難所での炊出し、夜番、救援物資の運搬、配分等昼夜の別なく活動すると共に街頭での献血、募金運動も行い、又全国の地区RACからの救援資金、物資等の世話、連絡の中核となって活躍した。

2) 次年度への伝達

①阪神大震災の救援活動は約2カ月で一応のピリオドを打ったが、今後も中長期的な視野での計画を立て、RCの災害救援対策委員会との共同奉仕の形で活動を継続したい。

②本年度は新クラブの結成はなかったが、RACの研究、準備をしている意欲あるロータリーへの応援をしたい。

RI第2660地区 1994～95年度 RAC年間行事報告

開催日	行 事	ホストクラブ
1994. 7. 24	地区リーダーシップフォーラム	枚方
8. 5～7	少年少女ニコニコキャンプリーダー奉仕	大阪天満橋
8. 21	第1回献血	東大阪東
8. 21	第1回地区連絡協議会	大阪西
9. 23～25	RYLAセミナー参加	千里RC
10. 16	第2640地区との交流運動会	第2640地区 和歌山
11. 13	クリーンオリエンテーリング(大阪中ゾーン)	大阪梅田
11. 23～26	海外研修	地区RAC
12. 11	RC・RACジョイントパーティ	大阪空港
1995. 1～3月	阪神大震災救援活動	各クラブ 各ゾーン 地区
2. 5	第2回献血	吹田
2. 5	第2回地区連絡協議会	大阪住吉
2. 26	大阪北ゾーンスポーツ大会	池田
3. 12	世界ローターアクト週間行事として街頭募金	大阪西南
3. 18～19	アジア第1・第3ゾーンRAC研修会	第2530地区会津若松
4. 9	身障児とロータリアンとの仲良し運動会	地区社会奉仕委員会
4. 23	大阪南ゾーン連絡協議会	大阪南
5. 21	地区ローターアクト年次大会	大阪東
6. 11	新旧理事役員会	大阪

インターアクト委員会

委員長	中島孝夫	(八尾)
副委員長	朝倉良	(大阪城南)
委員	田中祥介	(大東)
同	前山克己	(大阪阪南)
同	今井悠紀	(大阪)
同	佐々進一	(大阪南西)
同	下城圓	(八尾)

1) 年次大会 (11月20日)

提唱大阪城南RC 明浄学院インターアクトクラブが担当、第2660地区IA年次大会開催。テーマは「アジアからの願い カンボジアの復興に協力を」

ホストの明浄学院高等学校が各校、各RCに訴えて、用済みテレカードを集める。3万枚が集められ、日本ボランティアセンターに送る。出席者は代表幹事小山氏、担当幹事宇田氏の挨拶を受ける。記念講演として、関西医科大学名誉教授大山昭夫先生による「エイズおよび伝染病について」。午後、明浄学院吹奏楽が運動場一杯に広がり演奏、演技があった。

2) 海外研修 (8月19日～23日)

提唱大東RC 桐陰高等学校担当(地区委員田中氏 委員長榎本氏 仲田顧問)

行き先 台湾 台北 信義扶輪社の協力を受ける。ホームステイは扶輪社社員家庭へ

参加者 地区8校インターアクター54名 顧問21名 医師1名 RA6名

主な行程 台北市内見学、陽明山身体障害者施設見学、ホームステイ

特記事項 本年は本地区が台北との交流が盛んであり、大東RCが台北扶輪社と親しく交流がなされていたため、スムーズに進行することができた。

3) レッツトライ インターアクト案内パンフ 配付 500冊

提唱住吉RC 浪速高校(本田顧問)担当 各クラブ、インターアクトクラブに配付した。

4) 「スクラム」インターアクト情報誌 2回発行

提唱大阪阪南RC 四天王寺学園（田中顧問）担当で写真を多用し、原稿は各校平等に執筆、ガバナー事務所をはじめ関係RC、各校に配付。

但し、第2号は6月発行予定。

5) 残余期間の活動予定

6月11日新入生歓迎会 提唱大阪城南RC 明浄学院（山川、大淵顧問）担当
大阪南港 ATC オズ にて開催予定。

6) 次年度の課題として、大阪RCの提唱校選択依頼、新加入校を期待する。

- 追加
1. 大阪RC提唱の大阪市立東高校がクラブ員集まらず休部状態であること。
大阪柏原RCに新クラブ誕生を期待されたが延期となる。
 2. リーダーシップフォーラム2回
 3. 顧問会議3回
 4. 地区委員会会議3回

国際奉仕部門

担当パスト・ガバナー古田敬三(大阪)

世界社会奉仕委員会

委員長	藤井宏一(大阪西北)
副委員長	吉川謹司(東大阪東)
委員	堀内 顕(八尾東)
同	横山守雄(大阪中央)
同	坂本 旭(大阪東淀)
同	一瀬昌夫(大阪堂島)
同	瀧田浩彦(東大阪中)
同	熊澤忠躬(守 口)

1994～1995年度の地区委員会活動として、飢餓に苦しむ多くの人達又貧困の為に罹病しても診療を受けられない人達の生活が少しでも向上する事の出来るプロジェクトとして次の様な活動を実施しました。

①フィリピン・スープキッチン財団職業訓練学校 (このプロジェクトは、第3780地区の地区プロジェクトとして再登録され、WCS ID# W02107として決定されたものです。)

②サンパウロ日伯友好病院

サンパウロ東部に位置する日伯友好病院周辺に多勢の生活に事欠く貧窮家族そして医療援助のない人達の為無料診療を実施する為の援助。

③インド・ホープアカデミー入学拡充

北カルカッタのスラム地域出身の恵まれない子供達のための英語で教える学校450人が在籍しているが過去8年間のプロジェクトの進捗は目ざましいものである。生徒たちの

勉学面での成長は良好であり、しつけ、行い、人格の面での成長はすばらしく上位中産階級の子供達と同等であり、将来優秀な人材となると思われる。

④ホープアカデミーに対してのミニ・ヴェン

ホープアカデミーは社会事業団によって運営されている無料の学校で北カルカッタの住宅地から離れた所にあり教員の確保のため又生徒たちの輸送の必要なときに用いる。

⑤フィリピンのための緊急援助対応資金

フィリピンは世界中で最も災害の多い国です。毎年サイクロン、洪水、地震に見舞われ、その上火山によって多くの人命が奪われています。地元の国際飢餓対策機構と協力してすみやかに援助出来る様にするため。

⑥ラオス農村地域における教育の質及び教育方法の向上を計る為のFHIプロジェクト FHI (Food for the Hungry International)ラオス

ラオスは世界に存在する貧しい国の1つです。教育プロジェクトへの援助の必要性が高く、農村地域への教育の機会を提供するため。

⑦バングラデシュ/ダッカ クリニカル・ヘルス・プログラム

国内で唯一認可された小児科をもつ病院で、遠くから訪れる子供と母親の無料宿泊所を提供したり、栄養に関するトレーニングを行うことで保健に関する知識を教えたりするため。

⑧ベネズエラ・カラカス サンタリタ計画

カラカスとラグアイラの旧街道にあるプラン・デ・マンサノと呼ばれる地区は首都の中でも特に人口が密集して貧しい人達の多い所です。現在修道女達の献身的努力により教会が出来、その中で人々にタイプライター、ミシン、炊事用具、電気工事・配管工事の練習に必要な道具、コンピューター等を購入して人々に技術を教えるための活動。

以上①～⑧のプロジェクト以外に阪神大震災の様な不測の出来事の時緊急に援助出来る様資金をプールしました。

WCSは一刻も早く援助する事が望ましいと考えて居ります。

青少年交換委員会

委員長	毛利哲三	(大阪西南)
副委員長	八木頼夫	(大阪)
同	中一皓	(枚方くずは)
委員	三宅一嘉	(大阪東南)
同	近藤眞道	(高槻西)
同	森禎良	(大阪北)
同	植田豊實	(箕面中央)
同	山口賢一	(大阪南)
同	津田憲治	(大阪本町)
同	佐藤俊一	(大阪鶴見)

1. 委員会は上記10名の委員で運営してきたが各委員の分担を下記のように取り決め日常の業務を行ってきた。委員会は通常行事の日程の前後に開催し、ガバナー事務所とも密接な連携をとり、ほぼ円滑に成果を上げている。

今年度の長期ならびに短期の交換学生の氏名、スポンサークラブ、ホストクラブのリストは別紙の通りであり、特に問題となる事例はなく、このプログラムの意義を具現していきたい。

2. 主な年間活動

- (1) 交換学生の派遣および受入れに関する事務折衝およびPR
- (2) 派遣及び受入れ交換学生に対するオリエンテーションの実施
- (3) ホストクラブ、ホストファミリーに対するオリエンテーションの実施
- (4) 歓送迎会、クリスマスならびに新年会の実施
- (5) 各種アンケート調査の実施
- (6) 来日学生の通学高等学校の選択および斡旋
- (7) 学生受入れ高校、ホストクラブ、ホストファミリーへの感謝状贈呈および帰国学生への留学修了証書の授与
- (8) 一泊研修旅行、禅寺一日研修の計画実施、地区大会、RYLA等の行事への参加勧奨
- (9) 受入れ、派遣両学生の感想文集の発行

青少年交換委員会業務分担表

役 職	氏 名	第2660地区 YECの業務
委員長	毛利 哲三	業 務 全 般 IN BOUND/OUT BOUND 刺エテ-ション RECRUIT
副委員長	八木 頼夫	IN BOUND 全般 IN BOUND 刺エテ-ション RECRUIT
副委員長	中 一 皓	IN BOUND 刺エテ-ション IN BOUND 1STホト・高校アケ-ト / 月例報告 / 帰国に際してのアケ-ト / OUT BOUND 全般 OUT BOUND 月例報告 / 外国の クア、ファミリ- に対するアケ-ト RECRUIT
委 員	三宅 一嘉	OUT BOUND 刺エテ-ション 外国の クア、ファミリ- に対するアケ-ト RECRUIT ROTEX 文集の編纂
委 員	近藤 真道	IN BOUND 各種行事 RECRUIT ROTEX
委 員	森 禎良	IN BOUND 1STホト・高校アケ-ト / 月例報告 / 帰国に際してのアケ-ト / RECRUIT
委 員	植田 豊實	IN BOUND 各種行事 RECRUIT ROTEX

役 職	氏 名	第2660地区 YECの業務
委 員	山口 賢一	OUT BOUND 月例報告／ 外国のクラブ、ファミリー に対するアンケート RECRUIT 文集の編纂
委 員	津田 憲治	IN BOUND 各種行事／証書類 OUT BOUND 刺エントーション RECRUIT
委 員	佐藤 俊一	IN BOUND 刺エントーション／各種行事 RECRUIT

1) 長期派遣学生(1995~1996年)

NO.	氏名 スポンサーRC	性別 年齢	ホストロータリークラブ 住所	地区・国名 電話
1	岸 貴美子 大阪本町	女 16	GALVESTON, TX. 〒551 大阪市大正区泉尾1-17-30-203	5910 U. S. A. 06-554-7749
2	蓮舎 明子 大阪うつば	女 15	FORT ATKINSON, WI. 〒596 岸和田市池尻町646	6250 U. S. A. 0724-44-6025
3	三宅 和宏 大阪東南	男 15	DAHO FALLS, ID. 〒631 奈良市鳥見町1-8-22	5400 U. S. A. 0742-44-8534
4	古谷 吉康 吹田 西	男 18	WEST OTTAWA, ONT. 〒564 吹田市江坂町2-15-14	7040 U. S. A. 06-385-3054
5	藤井加奈子 箕面	女 16	ORANGEVILLE HIGHLANDS 〒562 箕面市桜井2-2-5	7080 CANADA 0727-23-7881
6	長谷川容子 高槻 西	女 19	MENDEN, SAUERLAND 〒569 高槻市寺谷町34-2	1900 ドイツ 0726-87-9233
7	渡辺 琴 枚方くずは	女 17	GLENFIELD, AUCKLAND 〒658 神戸市東灘区御影中町7-4-21	9910 N. Z. 078-811-9476
8	久保 絢子 高槻 西	女 16	ORLEANS BEAUCE SOLOGNE 〒569 高槻市成合中野町15-1	1720 フランス 0726-87-8187
9	大岡 瑠美絵 大阪城南	女 15	〒631 奈良市鳥見町1-5-1	U. S. A. 0742-49-4556
10	木村 周平 大阪東南	男	〒530 大阪市北区天神橋3-7-3-303	U. S. A. 06-357-1753
11	安積 智子 枚方くずは	女 16	〒573 枚方市北中振1-40-17	フランス 0720-34-7149
12	黒澤 朋恵 枚方くずは	女 17	〒573-01 枚方市長尾元町3-45-22	U. S. A. 0720-67-6744
13	押村 直志 大阪うつば	男 15	〒619-02 京都府相楽郡木津町兜台 6-13-15	U. S. A. 0774-72-9252

NO. 1~7は1994年8月~1995年7月

NO. 8は1995年4月~1996年3月

NO. 9~13は1995年8月~1996年7月

2) 長期受入学生(1995~1996年)

NO.	氏 名	性別 年齢	スポンサーロータリークラブ ホストロータリークラブ	地 区 国 名
1	OWEN, ELISE MARIE	女 18	VANCOUVER, WA. 大阪鶴見	5100 U. S. A.
2	LOROSE, JULIE MARIE JOHANNE	女 16	MONTREAL VILLEMARTE 大阪うつぼ	7040 カナダ
3	SINN, ADAM CLARK	男 16	HOOPESTON, IL 吹田西	6490 U. S. A.
4	CONNORS, KAREN ELITHABETH	女 16	MILTON, ONT 箕面	7080 カナダ
5	SILVEIRA, RAQUEL KEKA	女 16	JOAO PINHEIRO 大阪東南	4760 ブラジアル
6	WITHFORD, STEPHEN BRACE	男 16	ONE HUNGA 枚方くずは	9910 N. Z.
7	RODRIGUES, SOSE EDUARDO	男 17	SAO PAULO PINHBIROS 大阪本町	4610 ブラジル
8	GANTZ, KARA MICHELLE	女 16	MCCALL PAPETTE LAKES #1044 大阪東南	5400 U. S. A.
9	HIRSCH, DAVID LEIGH	男 15	MADISON WEST TOWN-MIDDLE 大阪うつぼ	6250 U. S. A.
10	LEMIEUX, ANNE MARIE	女 17	PETAWAWA 大阪城南	7040 カナダ
11	PAUL, JESSICA	女 17	SHAKOPEE 枚方くずは	5950 U. S. A.
12	FRICKLINGER, CHRISTOPH NIKOLAUS	男 18	NORDLINGER 高槻西	1840 ドイツ

NO. 1~4は1994年8月~1995年7月

NO. 5, 6は1995年1月~1995年12月

NO. 7~12は1995年8月~1996年7月

短期派遣学生 (1995年)

NO.	氏名	性別 年齢	住所	国電 名話
1	えさししんや	男 20	〒550 大阪市西区靱本町 1-4-3	イタリア 06-445-0126
2	かわぐちまや	女 21	〒577 枚方市	イタリア 06-788-5454
3	ゆきまつりょうへい	男 17	〒577 枚方市	イタリア 06-728-9467
4	あさのせいいちろう	男 17	〒581 八尾市	イタリア 0729-49-1615
5	きむらよしとも	男 20	〒530 大阪市北区天神橋 3-7-3-303	イタリア 06-357-1753
6	ひらたよしこ	女 18	〒565 吹田市古江田 1-10-1	イタリア 06-872-4719
7	ひらおこういち	男 22	〒573 枚方市西船橋 1-2-12	イタリア 0720-51-0768
8	かたやまなおき	男 22	〒563 池田市城山町 3-51-101	イタリア 0727-53-5218
9	ひらおこういち	男 17	〒563 池田市石橋 3-11-14	イタリア 0727-62-6503
10	たになかむねき	男 22	〒574 大東市諸福 1-8-6	イタリア 0720-73-5973

短期派遣学生 (1994年)

NO.	氏名	性別 年齢	住所	国名 電 話
1	ひろせようこ	女 17	〒665 兵庫県宝塚市	U. S. A. 0797-72-6061
2	ささまき	女 21	〒550 大阪市西区九条 3-23-6	U. S. A. 06-582-3467

短期受入学生 (1994年)

NO.	氏名	性別 年齢	住所	出身国 電 話
1	AMBER TAYLOR	女 21	〒77581 3422 SHADYCREST PEARLAND TEXAS	U. S. A. 713-485-8818

青少年交換委員会年間行事要約

月	項 目	対 象
7	<ol style="list-style-type: none"> 第1回地区青少年交換委員会全国会議出席 地区青少年交換委員会 開催 年度計画、予算等について 次年度8月長期交換学生の予備折衝 次年度8月長期派遣学生募集要項 発送 8月長期来日予定学生(1) 受入校エントランス *来日学生校エントランス 歓迎会案内状配付 (2) 受入高校 お礼状・歓迎会案内状発送 (3) 第1回補助金 振込 1月長期来日学生 第3回補助金 振込 ガバナー月誌 投稿 	委員長又は代理者(東京:ガバナー会事務所) かけ、かけ・ミニ、担当以外・かけ 地区国際奉仕担当幹事、地区交換委員 委員長、担当委員、海外地区担当者 地区内全クラブ(ガバナー事務所担当) 各クラブ 担当者、お母さん、お父さん 受入高校担当者、地区関係者、地区交換委員 受入高校(7月上旬) ホストクラブ40万円 ホストクラブ20万円 委員長、担当委員
8	<ol style="list-style-type: none"> 地区内全クラブ国際奉仕・青少年交換委員長会議 募集要項等の説明 帰国長期派遣学生歓迎会 連絡・感想文 依頼 感想文集記載の関係上司 挨拶文 依頼 8月長期派遣学生 出発 8月長期来日学生(1) 来日予定 連絡・出迎 (2) オリエンテーション・歓迎会 次年度8月長期交換学生 交渉開始 	各クラブ 担当者、かけ、かけ・ミニ 担当以外・かけ、地区交換委員 対象学生(外国文、日本語) かけ、担当以外・かけ、委員長 対象学生、父兄、スポンサークラブ ホストクラブ、ホストファミリー 来日学生、Rex、受入高校、ホストクラブ ホストファミリー、地区関係者、地区交換委員 委員長、担当委員、海外地区担当者
9	<ol style="list-style-type: none"> 大阪鶴見市民祭参加 山のライラ参加 次年度長期交換学生 応募状況 把握 1月長期来日予定学生 関係書類発送 	来日学生(大阪鶴見ロータリー担当) 来日学生、Rex(地区青少年活動委員会担当) 委員長、担当委員 ホストクラブ、海外派遣地区担当者
10	<ol style="list-style-type: none"> 3月長期派遣予定学生 応募締切 関係書類発送 1月長期来日学生(1) 帰国準備 連絡 (2) 受入感謝状・ディプロマ 作成 (3) 第4回補助金 振込 8月長期来日学生 アンケート発送 	スポンサークラブ、海外受入地区担当者 来日学生、ホストクラブ 担当委員 ホストクラブ20万円 受入高校、第一ホストファミリー
11	<ol style="list-style-type: none"> 身障者白浜旅行 参加 8月長期来日学生 第2回補助金 振込 3月長期派遣予定学生 キャンペーンフォーム 最終処理 1月長期来日予定学生受入 確認 1月長期来日学生 アンケート発送 	来日学生、Rex(地区社会奉仕委員会担当) ホストクラブ20万円 ホストクラブ、海外派遣地区担当者、委員長 ホストクラブ担当者(1)お母さん名 (2) 第一ホストファミリー(3) 補助金振込先 等 受入全ホストファミリー

月	項 目	対 象
12	1. 第2回地区青少年交換委員会全国会議出席 2. 地区青少年交換委員会 開催 次年度来日学生について 3. 8月長期来日学生 受入関係者の集い 4. 1月長期来日予定学生 (1) 受入オリエンテーション * (2、3、4は同日に実施) * 来日学生オリエンテーション・新年会案内状 配付 (2) 受入高校 お礼状・新年会案内状発送 (3) 第1回補助金 振込	委員長又は代理者 (東京: ガバナー会事務所) かけ、かけ・バニ、担当以外・かけ 地区国際奉仕担当幹事、地区交換委員 かけ、ホストファミリー、地区交換委員 受け 担当者、かけ、ホストファミリー 受入高校担当者、地区関係者、地区交換委員 受入高校 (12月上旬) ホストクラブ40万円
1	1. 8月長期派遣予定学生 応募締切 関係書類発送 2. 1月長期来日学生 (1) 来日予定 連絡・出迎 (2) オリエンテーション・歓迎会 3. 3月長期派遣予定学生 オリエンテーション 4. 新年会 * (2、3、4は同日に実施) 5. 3月長期派遣学生 アンケート発送 6. 青少年交換学生感想文集 発刊 7. ガバナー月誌 投稿	スポンサークラブ、海外受入地区担当者 ホストクラブ、ホストファミリー 派遣学生、父兄、スポンサークラブ担当者 来日学生、Rex、受入高校、ホストクラブ ホストファミリー、地区関係者、地区交換委員 担当委員、海外派遣地区担当者 担当委員 委員長、担当委員
2	1. 地区年次大会 部別協議会 打合せ 2. 世界理解月間 卓話依頼 3. 8月長期来日学生 第3回補助金 振込 4. 海外地区青少年交換担当者 来訪・接待	委員長、関係委員 委員長、担当委員 ホストクラブ20万円 委員長、関係委員
3	1. 国際大会前 青少年交換会議参加 要請 2. 3月帰国長期派遣学生 感想文 依頼 3. 3月長期派遣学生 出発 4. 1月長期来日学生 アンケート発送 5. 広島 研修旅行	委員長、関係委員 対象学生 (外国文、日本語) 対象学生、父兄、スポンサークラブ 受入高校、第一ホストファミリー 来日学生、担当委員、その他希望者
4	1. 次年度3月長期派遣学生の予備折衝 2. 次年度3月長期派遣学生募集要項 発送 3. 地区年次大会 参加 4. 1月長期来日学生 第2回補助金 振込 5. 8月長期派遣予定学生 キャンペーンフォーム 最終処理 6. 地区青少年交換委員会 開催 事業報告内容等について 7. 次年度3月長期交換学生 交渉開始	委員長、担当委員 地区内全クラブ (ガバナー事務所担当) 来日学生、Rex ホストクラブ20万円 ホストクラブ、海外派遣地区担当者、委員長 かけ、かけ・バニ、担当以外・かけ 地区国際奉仕担当幹事、地区交換委員 委員長、担当委員 海外地区担当者

月	項 目	対 象
5	1. 長期来日学生 (1) 海のライラ参加 (2) 座禅会 参加 2. 8月長期来日学生 (1) 帰国準備 連絡 (2) 受入感謝状・ディプロマ 作成 (3) 第4回補助金 振込 3. 8月長期来日予定学生受入 確認 4. 8月長期派遣学生 アンケート発送 5. 8月長期来日学生 アンケート発送 6. ガバナー月誌 投稿	来日学生、Rex (地区青少年活動委員会担当) 来日学生、Rex (高槻西ロータークラブ担当) 来日学生、ホストクラブ 担当委員 ホストクラブ20万円 ホストクラブ担当者 (1) 加代子名 (2) 第一ホストファミリー(3) 補助金振込先 等 担当委員、海外派遣地区担当者 受入全ホストファミリー 委員長、担当委員
6	1. 地区協議会 出席 2. 8月長期派遣予定学生 オリエンテーション 3. 長期来日学生・3月帰国学生 歓送迎会 * (2、3は同日に実施)	委員長、担当委員 各クラブ国際奉仕委員長・青少年交換委員長 派遣学生、父兄、スポンサークラブ担当者 来日学生、Rex、受入高校、ホストクラブ ホストファミリー、地区関係者、地区交換委員

国際交流・平和委員会

委員長 小山雄三(大阪東)
副委員長 笹井敏之(大阪阪和)
委員 野村浩司(大阪そねざき)
同 徳永孝哉(大阪船場)
同 本田良光(大阪東)
同 吉川邦英(大阪)

1) 平成6年5月20日

ロイヤルホテル特別室にて古田敬三(パスト・ガバナー)と委員6名が集まり、平成6年～7年の打合せをする。台湾の台北の国際大会に会員各位に出席をお願いすることを打合せする。

2) 平成6年6月12日から15日

国際大会 台北大会に全世界より参加者総数 31,092名
参加国 80ヶ国

①日本	12,909名	
②台湾	9,818名	
③米国	2,926名	
④フィリピン	987名	
⑤韓国	881名	
⑥タイ	431名	
⑦香港	373名	
⑧フランス	315名	
⑨カナダ	240名	
⑩オーストラリア	220名	計29,100名
その他	1,992名	

第2660地区よりの参加者は

会員 384名 家族 63名 合計447名が参加されました。

3) 平成6年7月16日

YMCA別室にて国際奉仕部門の全体会議を開催。

国際交流としては8月中に平成7年6月12日より15日迄のフランス・ニースの国際大会に関するアンケート及び姉妹・友好クラブの最新の情報を各クラブに願います。

4) 平成6年9月7日

ガバナー事務所にて8月末までの、アンケートの集計を小山、笹井、本田の各委員にて集計する。

5) 平成6年10月31日

国際交流・平和委員会を弁天町ガバナー事務所の特別会議室にて、古田敬三PG外全員出席にて8月末のアンケートの報告及び2月の平和月間の件をガバナー月信に掲載することを打合せする。

ニース国際大会の出席予定者は「230名」有りました。

6) 平成7年1月

ロイヤルホテル別室にて古田敬三PG出席のもとに徳永会員ほか5名が出席し、2月の平和月間のPR及びニース行きのPRを各クラブに願います。

その後1月17日に阪神大震災が突然に起こり、その後の調査では国際大会参加者は196名に減少しました。実際の6月出発迄には、更に減少する見込みです。

7) 平成7年4月17日

この秋に大阪で開催されるAPECについてロータリーとして協力して欲しいとの依頼があり、笹井副委員長が会議に出席する。

その結果、ロータリーの地区協議会、合同研修会で、青少年交換委員会、米山奨学生等に協力を依頼する。

(APEC大阪会議関西協力協議会事務局より要請)

			00:01~00:31	火	以上
			00:01~00:01	土	7/2
			00:01~00:01	月	8/2

ロータリー財団部門

担当パスト・ガバナー山中文和(大阪南)

ロータリー財団委員会(部門小委員会委員長で構成)

委員長 山中文和(大阪南 RC)

委員 田中穰二(大阪西南RC 財団情報委員長)

同 中田康仁(大阪南 RC 財団増進委員長)

同 大川進一郎(大東RC 国際親善奨学金委員長)

同 大内昭男(大阪鶴見RC 研究グループ交換委員長)

同 大井勝利(東大阪西RC 財団学友委員長)

(一) 今年度は下記の如く委員会を開催した。

1994～95年度地区ロータリー財団 主たる行事、委員会

(1994年) 日 時			行 事	会 場
4/1	金	15:30～16:30	第1回財団委員会・地区協議会打合せ (地区財団セミナー・部門別協議会)	ロイヤルホテル 役員応接室
4/12	火	14:00～16:00	第2回財団委員会・地区協議会打合せ	三井7-バンビル
5/7	土	10:00～16:30	現・次年度合同地区委員長会議	辯天宗信者会館
5/9	月	15:00～17:00	第1回財団情報・財団増進(現・次年度 委員会)	かけハニ-事務所

(1994年) 日 時		行 事	会 場	
5/10	火	16:00~18:00	第3回財団委員会・地区協議会打合せ	ガバナー事務所
5/28	月	9:00~	地区協議会(財団セミナー・財団部門協議会)	都ホテル大阪
6/4	土	11:00~	第3回オリエンテーション	YMCA
6/11	土	9:00~17:00	1994~95年度国際親善奨学生第1次選考会	YMCA
6/25	土	9:00~17:00	1994~95年度国際親善奨学生第2次選考会	YMCA
7/			第1回研究グループ交換委員会(受入れ派遣)	
7/9	土	10:00~16:00	合同地区委員会	都ホテル大阪
8/初	水	15:00~17:00	第4回地区ロータリー財団委員会	ガバナー事務所
8/			PSC総会並びに懇親会 1992~93年度国際親善奨学生帰国歓迎会 及び報告会 第2回研究グループ交換委員会(受入れ派遣)	
9/初		11:00~13:00	第2回財団情報・財団増進委員会	YMCA
			第1回国際親善奨学金委員会	"
		13:30~16:30	第1回クラブロータリー財団委員長会議	"

(1994年) 日 時			行 事 初	会 場
10/中		12:00~14:00 14:30~16:00	第5回地区ロータリー財団委員会 第3回財団増進委員会	ガバナー事務所 "
10/下			1994~95年度国際親善奨学生 第1回オリエンテーション	YMCA
11/		15:00~17:00	団員オリエンテーション 2日間	
12/初		11:00~13:00 13:30~16:30	第6回地区ロータリー財団委員会 第2回クラブロータリー財団委員長会議	YMCA "
(1995年) 日 時			行 事	会 場
2/3	金	17:00~18:45 14:30~16:00	第4回学友委員会 第4回P S C例会	国際交流センター "
3/8	水	17:00~18:00 18:00~19:30	1995~96年度第1回地区ロータリー財団委員会 地区ロータリー財団委員会懇親会	ガバナー事務所 三井アパホテル
3/18	土	13:00~16:00	1994~95年度国際親善奨学生 第2回オリエンテーション	YMCA
3/23	木	14:00~16:30	地区大会部門別協議会打合せ	三井アパホテル
4/1	土	9:30~12:00 13:00~	次期地区委員長会議(会長エレクト研修セミナー)	葉業年金会館

(1995年)日		時	行	事	会 場
4/7	金	17:00~18:45 19:00~20:45	第5回学友委員会 第5回P S C例会		国際交流センター "
4/11	火	17:00~18:30 18:30~20:00	1995~96年度第1回地区ロータリー 財団部門委員会 (全委員) (財団セミナー並びに地区協議会打合せ)		オ・セイリュウ
4/18	火	16:00~17:30 17:30~19:0	研究グループ交換委員会 研究グループ交換委員会 歓送会		
4/20	木	14:30~17:00	地区協議会打合せ		ホク 2番街7F
5/6	土	9:15~16:15	地区協議会財団部門協議会		ロイヤルホテル
5/7	土		研究グループ交換受入 歓迎会		ホテルニューオータニ
5/12	金	15:00~17:30	地区大会財団部門協議会		ロイヤルホテル
5/20	土	9:00~17:00	1996~97年度国際親善奨学生第1次選考会		YMCA
5/下			1994~95年度第7回地区ロータリー 財団委員会		ガバナー事務所
6/2	金	17:00~18:45 19:00~20:45	第6回学友委員会 第6回P S C例会		国際交流センター "
6/3	土	9:00~17:00	1996~97年度国際親善奨学生第2次選考会		YMCA

(1995年) 日 時		行 事	会 場
6/10	金 16:00～17:30 17:30～19:00	研究グループ交換受入 委員会 研究グループ交換受入団員 送別会 研究グループ交換派遣団員 帰国歓迎及び 報告会	ホテル交渉中
6/17	土 11:30～13:30 13:30～16:30	第1回奨学金委員会 第3回奨学生オリエンテーション	YMCA

(二) 各小委員会活動は各々の委員長より詳しい報告がある。以下概略を申し上げる。

1. 財団情報委員会

財団関係の膨大な情報が送られてくるので、それを整理して各地区委員や各ロータリークラブへ正しく伝達してゆく為、今年度から新しく財団情報委員会を創設し田中穰二氏（委員長）、増田鼎氏、西川豊蔵氏の3人のベテラン委員で活発に活動した。

今年度から財団ニュースを発行、今までに3回各クラブ財団委員長宛に配布した。

2. 財団増進委員会

財団増進委員会今年度の目標は1人当たり\$135.-に設定された。

1992～1993年度並びに1993～1994年度が財団設立75周年の記念事業募金を活発に行なった後の年度であり、その上阪神第震災のため被災も多く、とても目標を達成できないのではないかと懸念していたが増進委員会の活発な活動の結果、3月末日で既に1人当たり一般寄付は\$117となったので、必ず目標をオーバー出来るのも確信している。

その上3月末では合計\$646,827-となり世界中の地区の中で第2の地区となっている。

3. 財団国際親善奨学金委員会

1994-1995年度 24名

1995-1996年度 22名

1996-1997年度 24名

1名ブラジルへ寄付

3名 —

フィリピン
インドネシア
マレーシア

へ寄付、但し奨学生は当地区内
大学へ来る事の条件付

1997-1998年度 今後復活したジャパンプログラムへ1名寄付する事に決定した。

4. GSE

本年度は目下国際ロータリー第2400地区の南スウェーデンと交渉中で団長アンデルス・ロンゲ氏はじめ、女性3人を含む5名が来日中（5月5日～6月11日）又、当地区からは中園直樹氏を団長に女性1人を含む5名が（4月21日～5月31日）の間、第2400地区へ派遣されている。

来年度ブラジルのサンパウロ市第4430地区と行う事に決まっている。

5. 財団学友委員会

現、大井委員長の大変な熱意により3年前より学友会活動の活性化がはかられ現在271名のPSCが登録されており、2月、4月、6月、8月、10月、12月の第一金曜日に学友委員会とPSCの例会をもち多数の参加を得て業績を上げている。

○以上であるが次年度はベネファクター等基金への寄付の促進と、学友活動の尚一層の活性化を2大重点方針としてやっていく予定である。

財団情報委員会

委員長 田中 穰二(大阪西南)
副委員長 増田 鼎(八尾)
委員 西川 豊蔵(高槻東)

本年度より単独委員会として発足した当委員会はロータリー財団各委員会、とくに財団増進委員会と緊密な連絡をとりながら“情報は参加と支援の鍵”をモットーに機会をもとめてロータリー情報の提供と“ロータリー財団情報ニュース”の配付につとめ、ロータリアンの財団活動に対する理解と参加を計った。

1) 本年度の活動

- イ) 1994年5月9日、財団増進委員会と合同で新旧委員会を開催し、新年度方針および計画を協議決定した。
- ロ) 5月28日開催の地区協議会・財団部門で、ロータリー財団情報を提供し理解に努めた。
- ハ) 9月10日、財団増進委員会と合同委員会を開催した。同日開催の第1回クラブロータリー財団委員長会議で財団に関する情報を提供すると共に“ロータリー財団情報ニュース”第1号を配付した。
- ニ) 10月14日、財団増進委員会と合同委員会を開き、財団月間その他について打合せた。
- ホ) 12月10日開催の第2回クラブロータリー財団委員長会議でスライドによる財団情報の提供と共に“ロータリー財団情報ニュース”第2号を配付した。
- ヘ) 1995年5月6日開催の地区協議会・財団部門で小冊子“ロータリー財団”やその他資料による情報提供と共に“ロータリー財団情報ニュース”第3号を配付した。
- ト) 5月12日開催の地区大会・財団部門懇談会で1年間の評価・報告と共に“ロータリー財団情報ニュース”第3号を配付した。
- チ) 5月に新旧委員会開催予定。

2) 次年度への伝達事項

財団増進委員会

委員長	中田康仁(大阪南)
副委員長	山口幸雄(八尾)
委員	谷口勉(大阪難波)
同	矢部文治(大阪)
同	西村五郎(大阪城南)

【目標】

当委員会は年初、本年度の目標として、次の3つを掲げた。

- 1) 財団情報委員会との連携を密にする。
- 2) 一般寄付を1人当たり平均135ドルとする。
- 3) 各クラブに1名以上のベネファクターを推奨する。

【報告】

- 1) 本年度より本地区に新設された財団情報委員会との連携は、合同の委員会を開催するなどして情報交換を密に図り、初期の目的は概ね達したと思う。
- 2) 直近のRI財団報告(1995.3月末)によると、本地区の一般寄付目標額(600,000ドル)に対して、107.8%(646,827.86ドル)の達成率であり、1人当たりの一般寄付平均額は117ドル(86.6%)であって、総合一般寄付とも世界第2位の成績を挙げている。残された期間内に目標達成は十分可能であると確信している。
- 3) 本地区のベネファクターは、本年度47名が新たに認定され(1995.3月末)、累計175名に達した。特に寝屋川RCで1口2万ドルの大口寄付が達成されたことは特筆すべきである。その外、吹田、東大阪西の各RCでは、会員以外の方々がベネファクターに認定されており、われわれロータリアンに一層の奮起を促すものとなっている。

すでに財団への高い貢献を果している本地区が、さらに毎年、地区の目標額を上げて行くことに批判がないわけでない。殊に厳しい経済環境にある昨今、クラブ担当者の苦勞がしのばれるのである。しかし一方において、円高に伴うドル建てによる財団寄付がやり

易くなっていることも事実である。そして、世界平和と人類の安寧に寄与するロータリーの財団活動を支援し、時代に即したあらゆるニーズに応えるためには、これによしとする限界がないということも正しく理解されなければならない。各位にさらなる支援を望む所以である。

- (前) 藤 英 喜 村 昌 委
- (前) 大 文 貞 井 豊 同
- (川 豊 野 宮 井 丘 田 同
- (豊 野 岡 野 大) 美 木 三 同
- (豊 野 文) 野 嘉 一 東 同
- (東 野 大 東) 興 秀 田 幸 同

1994年11月5日(日) 1992-96年度(1)

大会の趣意

(1992-96年度)

大会の趣意(1992-96年度)

(大会趣意)

(大会趣意(1992-96年度))

大会趣意	大会趣意	大会趣意	大会趣意
一 本森 (米)	大文野(代)	野 大 東	同野 中重
藤五 木高 (米)	大文野(本)	野大 野大	千野 川藤
野忠 丘野 (英)	大文野(サ)	野野 田野	野美 藤藤
野昌 山野 (米)	大文野(小)	里千 中野	千野 田野
野昌 山野 (米)	大文野(ト)	里千 中野	野野 野藤
野野 野野 (米)	大文野(バ)	野 野	千野 共野
人野 野野 (米)	大立市(バー)	野 野大東	野野 野野
野野 木野 (英)	大文野(バ)	野野 野大	野野 共野
野野 野 (米)	大文野(バ)	野野 野大	千野 野野
野野 野 (米)	野野野(ト)	野 野 野	野野 野野

財団国際親善奨学金委員会

委員長 大川 進一郎 (大 東)
 副委員長 阿部 成之助 (大 阪 鶴 見)
 委員 林 喜 英 (箕 面)
 同 櫻 井 良 文 (大 阪)
 同 田 辺 和 宏 (寝 屋 川)
 同 三 木 茂 (大 阪 阿 倍 野)
 同 奥 嘉 隆 (交 野)
 同 寺 田 秀 興 (東 大 阪 東)

1) 1994年6月11日と6月25日の両日選考会を行い、1995～96年度奨学生を次の通り選んだ。

《1995～96年度留学生》

派遣：21名 (派遣国：米国14名、イギリス・イタリア各2名、ドイツ・ブラジルロシア各1名)

(過程別：大学院20名、大学1名)

氏名	推薦クラブ	留学国・留学先	顧問-列アソ
道中 博司	東 大 阪	カンザス大 (米)	森本 一
菊川 雅子	大阪 大淀	ボストン大 (米)	富永 正蔵
船越 美穂	吹田 江坂	サリー大 (英)	渡辺 忠雄
豊田 幸子	豊中 千里	モンレー大 (米)	横山 昌弘
森尾 博昭	豊中 千里	ベイラー大 (米)	横山 昌弘
玉井 貴子	摂 津	ピッツバーク大 (米)	岩城 邦廣
和田 昌哉	東大阪 西	ニューヨーク市立大 (米)	岩崎 旭人
長井 克己	大阪 北淀	エジンバラ大 (英)	元木 英輔
寺田 景子	大阪 北淀	ジョージワシントン大 (米)	辻 信次
小阪 満賀	吹 田 西	A・ボイト音楽院 (伊)	石崎 克弘

氏名	推薦クラブ	留学国・留学先	顧問・ロータリオン
森本 優子	箕面 中央	マサチューセッツ工科大 (米)	国司 精一
清原佐知子	東 大 阪	ベルリン自由大 (独)	森本 一
松村麻里子	大 阪 北	財デパネロ・カトリック大 (伯)	本田 陽一
茅島 玲子	高 槻 西	ハワイ大 (米)	菊地 祐生
末永 浩章	高 槻	ミシガン州立大 (米)	梶田 政直
片山 優陽	大阪ちやま	モスクワ国立音楽院 (露)	鷲塚 昭夫
大野 陽子	大阪阿倍野	ローマ大 (伊)	三木 茂
鈴木 在乃	高 槻 東	カリフォルニア大 (米)	松浦 寛法
加藤 摩起	大阪天王寺	カリフォルニア大 (米)	真鍋 昌知
恩田 光子	高 槻 西	アイオワ大 (米)	菊地 祐生

* 1名取消し (次年度に繰上げ予定)

- 2) 上記奨学生並びにスポンサー・クラブ顧問ロータリオン合同のオリエンテーションを第1回は昨年11月12日、文化講座のテーマは「日本の常識と世界の非常識」。第2回は3月18日、テーマは「健康について」と題して、熊澤GNより「エイズの怖さ」について講話して頂いた。第3回は歓送会を兼ね「西洋料理マナーについて」来る6月17日に開催の予定。
- 3) 昨年12月10日の第2回クラブロータリー財団委員長会議で、1996～97年度奨学生の募集要領を説明した。枠は27名であったが、フィリピン、インドネシア、マレーシア地区の学生各1名ずつ日本の大学で学ぶ事を条件に贈与したので、当地区の募集人員は24名の予定。
- 4) 来る5月20日と6月3日に1996～97年度国際親善奨学生第1次、第2次選考会をいずれもYMCAで行う予定。
- 5) RI本部の奨学生受付締切日は10月15日であるが、志望校への指名は受付順となっている為に、当地区も選考会を早め、来る5月12日、26日に行う予定。

研究グループ交換委員会

委員長	大内昭男(大阪鶴見)
副委員長	樫村泰信(摂津)
委員	細江重(大阪東淀)
同	橋本公宏(池田)
同	松岡茂雄(大阪鶴見)
同	力石恒夫(八尾)
同	大野忠雄(大阪梅田東)
同	熊澤忠躬(守口)

1994～95年度の研究グループ交換(GSE)は、色々な面で新しい試みと周到な準備で年度内に派遣と受入れを殆ど同じ時期に行うことができました。RI第2400地区(南スウェーデン)とGSEを決定したことは、これからの福祉問題を考える上でタイムリーではなかったかと思えます。

1) 派遣について

チーム・リーダーは守口RC推薦の中園直樹氏(46才)に決定。氏は現在、関西医科大学の公衆衛生学の教授で、国際会議の経験が豊富で、又、守口RCからネグロス島の医療奉仕団にも参加しております。語学は英語とフランス語が堪能です。

又、チーム・メンバー4名に対して8人の応募があり、選考試験の結果、下記のとおり男性3名、女性1名を決定しました。

- ・諫山保次郎氏(37才) 京都大学卒 大阪市役所民生局勤務、ホスト大阪堂島RC
- ・山本 泰氏(28才) 大阪大学卒 YMCA勤務、ホスト大阪天王寺RC
- ・川本典美さん(32才) 神戸女学院 関西学院両大学院卒

社会福祉法人寝屋川めぐみ園勤務、ホスト寝屋川RC

・山田有希生氏(27才) 同志社大学卒 京阪電鉄労務課勤務 ホスト大阪鶴見RC
何れも優秀なメンバーで、事前にスウェーデンについて学び、語学のオリエンテーションも受けて、平成7年4月21日元気に関西国際空港から出発、現地に無事到着、現在例会出席や職業研修に励んでいるとの事です。

2) 受入れについて

RI第2400地区のGSE委員長アンダーソン氏とFAX通信を頻繁に行い、情報交換がスムーズであった為、先方のチームリーダー及びメンバーの日本における職業面での希望や関心、又は生活面での趣味等をホスト家庭募集時にお知らせすることができたので、ホスト家庭引受の会員さんからメンバーの指名もあって、その希望に応えることができました。

今回の受入れについて、幾つかの新しい試みを取り入れてみました。従来の受入れの基本は当地区を5つのブロックに分けて、各ブロックで実行委員長を選び、ブロックでホスト家庭、職業研修のプランを樹て、実施しておりました。地区委員会としては各ブロック間の調整が難しく、ブロックによって費用の分担もまちまちだったようです。

そこで、今回はブロック制を廃止して、78クラブ、5500人のロータリアンに呼びかけ協力をお願いしました。地区委員会の仕事は何倍も増えましたが、相手チームのことを第一に考え計画を練りました。1月末に阪神大震災があって、今までホスト家庭の中心だった地域が大打撃を受けました。しかし、被害の少なかった京阪奈の会員の皆様から協力の申し入れがあり、結局、78クラブ中26クラブから38ホスト家庭の協力申し入れがあり感激しました。又、個人の職業研修については、それぞれ専門のカウンセラーに立候補して頂き、5名の方々を選ばせて頂きました。すでに、78クラブに「研究グループ交換受入要領」の小冊子をお届けしておりますが、職業研修については素晴らしいプランができております。

又、95年4月に「GSE受入に際し賛助金のお願いについて」のアンケートをお願いしました処、78全クラブから賛成のご回答を頂きました。有難うございました。

今回は受入れの仕事を通じて多くのことを知りました。そして、善意なロータリアンの協力がいかに多かったことか、惜しみない協力と理解を示して下さいだった78クラブと会員に心から感謝申し上げます。又、被災の影響を大きく受けたにも拘らず、熱心に受入れの会議に何回も参加され、プランニングに積極的に取り組んで下さったGSE地区委員の方々に敬意を表します。

財団学友委員会

委員長 大井 勝利 (東大阪西)
副委員長 吉川 忠章 (東大阪東)
委員 西村 一夫 (池田)
同 岸本 卯一郎 (箕面中央)
同 吉川 稔 (寝屋川)
同 簡 仁一 (茨木)

1) 国際親善奨学生 (PSC会員) 帰国歓迎会

国際親善奨学生 93年～94年帰国歓迎会

(平成6年8月20日(土)大阪YMC会館にて開催)

今年度は92年～94年の3年間における帰国奨学生へ連絡の結果92年～93年3名、93年～94年5名の計8名の出席となった。

中野ガバナー、地区ロータリー財団各委員、又地区学友各委員及び顧問ロータリアン計15名。

PSCメンバー13名、1995年奨学生候補者15名、合計51名の参加となった。帰国者1人1人が、留学生生活が終わり日本へ飛行機が着陸した時、夢のような気持ちであったと表現してくれて、第2660地区ロータリアンに対して感謝の気持ちを表してくれた事をうれしく思いながら大変盛会に終了した。(実費276,552円)

2) PSC役員改選

帰国歓迎会当日、PSC会長として1988年～89年奨学生藤本亮君。幹事として1987年～88年橋本明子君。副会長として1992年～93年伊藤公一君、1993年～94年小林知博君。編集委員として1987年～88年岡本悦司君、1993年～94年篠島麻子君に改選された。

3) 学友委員会及びPSCの定例例会について

学友委員会を偶数月の第1金曜日午後5時～午後6時45分迄定期開催し、特に午後6時から国際親善奨学生候補者及びその顧問ロータリアンを招いてPSC会員の活動内容を充分説明する。

又、PSC例会を学友委員会の会議後午後7時～午後8時45分迄上本町国際交流センターにて8月～翌年6月迄年6回開催してPSCメンバーの他、国際親善奨学生候補者及び顧問ロータリアンを招き留学国別に日を決めPSCメンバーとの直接対話を夕食を共にしながら実行した。昨年に引き続きPSC協力会としてスポンサークラブより奨学生候補者1名、合格初年度のみ年間20,000円をPSCへ振り込みをしていただく。年度末にはPSC便りとしてPSC会計報告を提出予定。

- 4) 財団学友委員会として特に今年度は奨学生候補者に対して留学先のロータクトクラブへの入会を促進するように指導した。
- 5) 11月度のロータリー財団月間でのPSCメンバーによる卓話についてPSCメンバー8名により8クラブで卓話を実行した。
- 6) 学友名簿及びPSC便りの発行

第2660地区パスト・ガナバー、各クラブ会長、ロータリー財団委員長、歴代顧問ロータリアン、PSCメンバー、地区ロータリー財団委員及び研究グループ交換学友会員の皆さんへ、送付した。発行部数950冊(実費644,780円 発送郵便代実費195,000円)

米 山 奨 学 部 門

担当パスト・ガバナー坂 東 宏(吹 田)

米 山 奨 学 委 員 会

委員長 増 本 猛(茨 木 東)
副委員長 渡 辺 斌(東 大 阪 中)
委員 崎 山 耕 作(大 阪 住 吉)
同 板 垣 周 男(豊中-大阪
国際空港)
同 澁 谷 敏 郎(大 阪 北)
同 三 好 三 郎 丸(大 阪 天 満 橋)
同 清 基 英 昭(池 田)
同 西 原 漸(高 槻 東)
同
(学友担当) 平 岡 龍 人(大 阪)

1) 寄付金 (1994/7~1995/3)

①全国 寄付金合計	1, 718, 060, 403円
会員1人当り平均額 (127, 763人)	13, 447円
②第2660地区寄付金合計	122, 651, 279円
会員1人当り平均額 (5, 469人)	22, 426円

地区合計額全国第2位、会員1人当り平均額全国第3位

2) 1995年度奨学生数

	全 国	第2660地区
申込総数	2,094人(無資格65人)	110人(無資格者2人)
新規採用数	484人	30人
継続支給者数	383人	16人
クラブ米山(CY)	43人	6人
SY-OB	10人	—
SY-1	14人	—
合 計	934人	52人

3) 1995学年度選考試験委員

・一般委員

ガバナー	中野 董 夫(大阪 阪南)
ガバナー・ノミネー	熊 澤 忠 躬(守 口)
地区担当PG	坂 東 宏(吹 田)
米山記念奨学会常務理事	種 田 憲 次(大阪 住吉)
地区米山奨学委員長	増 本 猛(茨 木 東)

・専門委員

大阪市立大学名誉教授	崎 山 耕 作(大阪 住吉)
立命館大学経済学部教授	柴 田 弘 文(大 阪)
大阪大学工学部教授	野 村 正 勝(箕 面 中央)
電子技術研究所所長	藤 井 克 彦(千 里)
大阪市立大学学長	山 本 研 二 郎(大阪 阪南)
大阪府立母子保健総合医療センター総長	松 本 圭 史(大 阪)

4) 実施した行事

1994年 9月 6日 (火)	クラブ米山委員長会議	於：薬業年金会館401 402
10月 1日～15日	米山奨学生募集	
10月 1日～31日	「米山月間」卓話	
10月 2日 (日)	米山奨学生レクレーション	於：宝塚ファミリーランド 大劇場
11月 9日 (水)	地区委員会	於：ベイトワレダス集会所2601
11月21日 (月)	米山奨学金申込書審査	於：ベイトワレダス集会所2601
11月29日 (火)	選考委員会(書類選考)	於：学習センター第2会議室
12月20日 (火)	書類選考会議	於：学習センター特別会議室
1995年 2月 7日 (火)	選考委員会(面接試験)	於：学習センター特別会議室
2月11日 (祝)	Y奨学生面接試験	於：新阪急ビル7・8号室
2月12日 (日)	Dis Y奨学生面接試験	於：新阪急ビル7・8号室
2月15日 (水)	最終選考会議	於：三井アパホテル 大阪
3月 5日 (日)	米山奨学生終了者歓送会	於：レストランルシエル
5月 6日 (土)	1995～'96 年度のための 地区協議会(米山奨学部門)	於：ロイヤルホテル
5月15日 (月)	新規米山奨学生リエンション	於：薬業年金会館301 601
(予定) 6月23日 (金)	地区委員会	於：ベイトワレダス集会所2601

以上

拡 大 部 門

担当パスト・ガバナー 武 尾 敬之助 (大阪西北)

拡 大 委 員 会

委員長

杉 本 一 三 (八 尾)

藤 本 眞 一 郎 (大 阪 堂 島)

委 長 小 西 豊 和 (守 口)

同 崎 島 七 郎 (大 阪 住 之 江)

同 松 島 馨 (寝 屋 川)

1) 平成7年4月29日

当委員会数年来の念願であった北摂淀川左岸地区での創立にあたり寝屋川RCの大変なご努力で寝屋川東(仮)RCが創立出来ました事は当委員会としまして大変な喜びであります。

- ・創立会員 25名
- ・特別代表 植口宗次氏(寝屋川RC)
- ・ホスト 寝屋川RC
- ・区域限界 寝屋川RCと共有します。

2) もう一つの念願であります大阪南港地区での創立では大阪住之江RCが今年度中の創立を目標に大変なご努力いただいております。

3) 次年度は大阪市内、大阪市域外で各一クラブずつの創立を模索しております。

ロータリーの友

地区委員 馬場 雄三 (大阪阪南)

「ロータリーの友」講読の義務が有るのを忘れていたところへ、地区委員を命じられ奇数月の第一月曜日には東京に全国の地区委員が集合し、会員に如何に「ロータリーの友」を楽しく読んで頂けるかの議題で討論いたします。毎月送られて来る「友」を全部熟読し所感をレポートし、提出させて頂きました。所感を文章にする事はこんなに難しいとは思っていなかった。最初は2カ月に一度の上京、毎月のレポート、何故こんな事と思ったが、私の弱点を鍛えて頂き、「友」が楽しく読ませて頂ける様になり、東京での会合で多くの友が出来た事が大きな収穫で、今は感謝の気持ちで一杯です。地区委員として責任を持ってしなければならない事が3つ有ります。「地区だより」と「わか町わか地区」の執筆。

「地区だより」では「東住吉区ボランティア・ビューローの開所の後援」の記事「わか町わか地区」では「大阪国際空港の今昔」と題して豊中-大阪国際空港クラブの武田明氏に関西国際空港が開港し、大阪国際空港が寂しくなった事を中心に執筆させて頂きました。「わか町わか地区」は地区委員が思いのままに執筆させて頂く事になっており、知らずに武田明氏にお願いしてしまいました。又「友愛の広場」には大阪東クラブの河上英夫氏が「奉仕の心と波動の関係」と題して投稿くださり、第2800地区から褒めて頂きました。その他当地区の多くの方々か投稿して下さりありがとうございます御座居ました。平成6年11月4日に広報委員長会議、平成7年3月3日、板橋敏雄「ロータリーの友」委員会委員長がご来臨下さり、雑誌委員長会議を開催いたしました。委員長からもう少し早い目に開催する様にとのご注意を頂きましたが78クラブの内75クラブの委員長が出席され熱心に取り組んでおられました。「ロータリーの友」を毎月読む事によって国内や世界のロータリーの動きが理解出来る、あるいはロータリーの教科書、参考書、知恵の倉庫でもあると愛読されておられる方が多くのロータリアンにおられる事、あるクラブの雑誌委員長が月初に「ロータリーの友」をいち早く熟読され、面白い所関係のある記事の所を例会で発表され、

自 平成5年10月
至 平成7年4月

1994～95年度国際ロータリー第2660地区

収支報告書

ガバナー 中野 董夫
地区財務委員長 吉田 英哲
会 計 中谷 龍石

収入の部 (単位:円)

科 目	予 算	実 算	予 算 残 額
前期繰越金	16,900,000	21,069,698	4,169,698
地区資金	800,000	2,352,987	1,552,987
山金 15,000円 x 5,500人	84,000,000	81,758,841	△ 2,241,159
雑 収	700,000	860,000	860,000
合 計	102,400,000	109,886,577	7,486,577

支出の部

科 目	予 算	実 算	予 算 残 額
委員 会 活 動 費	27,090,000	14,378,429	12,710,571
地区ガバナー指名委員会	200,000	20,247	179,753
地区ガバナー業績委員会	50,000	20,665	29,335
クラブ奉仕部門	200,000	142,086	57,904
職員増強委員会	500,000	218,827	281,173
会報規定・情報委員会	600,000	556,432	43,568
職業奉仕部門	400,000	86,290	313,710
職業奉仕委員会	150,000	162,403	△ 12,403
社会奉仕部門	1,300,000	456,316	843,684
社会奉仕委員会	290,000	159,210	130,790
青少年奉仕部門	2,600,000	1,444,344	1,155,656
青少年活動委員会	2,200,000	3,052,672	147,328
インターアクト委員会	5,700,000	3,863,913	1,836,087
国際奉仕部門	200,000	123,440	76,560
世界社会奉仕委員会	500,000	195,086	304,914
国際交流・平和委員会	250,000	144,223	105,777
ロータリー財団部門	100,000	99,176	824
ロータリー財団情報推進委員会	100,000	105,752	△ 5,752
ロータリー財団奨学金委員会	200,000	107,742	92,258
ロータリー財団国際親善交換委員会	700,000	535,752	1,164,248
ロータリー財団研究クラブ学友委員会	7,000,000	562,241	6,437,759
米山奨学部門	700,000	762,300	△ 12,300
米山奨学委員会	700,000	1,360,757	△ 660,757
拡大部門	200,000	152,791	47,209
委員会活動予備費	200,000	5,974	194,026
地震対策		40,780	△ 40,780
会 議 費	7,920,000	5,245,008	2,674,992
地区大会補助費	300,000	300,618	△ 618
地区協議会補助費	300,000	300,618	△ 618
地区ガバナー打合せ記念品	3,500,000	3,134,352	365,648
地区ガバナー会長歓迎品	2,000,000	979,420	1,020,580
地区ガバナー前年国際会議参加品	160,000		160,000
地区ガバナー前年国際会議補助費	370,000		370,000
地区ガバナー前年国際会議補助費	260,000		260,000
地区ガバナー前年国際会議補助費	830,000	830,618	△ 618
地区ガバナー前年国際会議補助費	200,000		200,000
日本国内地区ガバナー会	200円 x 5,600人	1,120,000	1,084,536
ロータリー文庫協力費	300円 x 5,600人	1,680,000	1,626,186
地区大会分担金	3,000円 x 5,600人	16,800,000	16,254,000
ガバナー一月信印刷費用		10,200,000	7,483,980
製版・印刷・送料・ホルダー	10,000,000	7,483,980	2,516,020
予 備 費	200,000		200,000
ガバナー事務所経費	32,800,000	30,680,133	2,119,867
合 計	97,610,000	30,680,133	20,856,728
差 引 収 支 差 額	4,790,000	33,133,305	28,343,305

(単位:円)

ガバナー事務所経費内訳	予 算	実 算	予 算 残 額
借入金	7,920,000	9,311,230	△ 1,391,230
光熱費	15,400,000	11,332,431	4,067,569
燃料費	1,300,000	1,190,618	109,382
印刷費	1,800,000	2,000,614	△ 200,614
交通費	2,500,000	1,686,655	813,345
通信費	160,000	87,552	72,448
事務用品費	1,200,000	399,008	800,992
事務用消耗品費	720,000	2,401,851	△ 1,681,851
事務用器具備費	1,600,000	2,270,174	△ 670,174
雑 費	200,000		200,000
合 計	32,800,000	30,680,133	2,119,867

平成7年4月末繰越金 ¥33,133,305は、
仮払金 □ 守口ロータリークラブ ¥4,500,000
□ その他 ¥ 65,250 □
計 ¥4,565,250を含む。
内訳 近畿銀行 2,438,301
三和銀行 5,743,771
定期預金 20,160,717
小口現金 225,266

特 別 会 計

1994年7月～1995年4月

(1) 青少年交換ファンド

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
前期繰越金	21,257,387	補 助 費	4,400,000
預金利息	290,968	行 事 費	1,235,676
各ｸﾞﾗﾌ 分担金	16,469,500	事 務 費	483,776
		雑 費	161,808
		次月繰越金	31,736,595
合 計	38,017,855	合 計	38,017,855

(2) ライラ指導指針

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
前期繰越金	699,271		
預金利息	782	次月繰越金	700,053
合 計	700,053	合 計	700,053

(3) 世界社会奉仕委員会基金

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
前期繰越金	4,925,916	支 援 金	3,133,300
預金利息	47,546	雑 費	618
基 金	12,111,540	次月繰越金	13,951,084
合 計	17,085,002	合 計	17,085,002

(4) 社会奉仕委員会『なかよし運動会』

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
前期繰越金	117,334	行 事 費	135,848
預金利息	131		
各ｸﾞﾗﾌ 分担金	5,304,400	次月繰越金	5,268,017
合 計	5,421,865	合 計	5,421,865

(5) 情報規定出版

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
前期繰越金	298,009		
預金利息	339		
ご存じですか	14,300	次月繰越金	312,648
合 計	312,648	合 計	312,648

(6) S&C海遊館の集い

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
前期繰越金	177,802	参 加 費	1,461,003
預金利息	1,301		
参 加 費	1,708,000	次月繰越金	426,100
合 計	1,887,103	合 計	1,887,103

(7) 職業分類編集委員会

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
前期繰越金	40,312		
預金利息	51		
職業分類表	5,000	次月繰越金	45,363
合 計	45,363	合 計	45,363

(8) 世界社会奉仕災害義捐金

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
前期繰越金	62,177		
預金利息	71	次月繰越金	62,248
合 計	62,248	合 計	62,248

(9) 米山奨学委員会

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
各ｸﾞﾗﾌ 分担金	1,542,860	行 事 費	1,542,860
		次月繰越金	0
合 計	1,542,860	合 計	1,542,860

(10) 兵庫県南部地震義捐金

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
各ｸﾞﾗﾌ 義捐金	34,116,410	義 捐 金	20,000,000
預金利息	1,830	協 賛 金	300,000
		雑 費	1,339
		次月繰越金	13,816,901
合 計	34,118,240	合 計	34,118,240

地 区 大 会

委 員 長 松 本 重太郎 (大阪阪南)
幹 事 田 村 弘 (大阪阪南)

本年度地区大会は去る5月12日～13日の3日間に亘り、来賓29名、そのご家族19名、RC会員3,294名、家族53名、その他GSE、ロータリー財団学友会、米山奨学生、青少年交換学生、ローターアクト、インターアクトを含めて43名、総数3,438名を迎えて盛会裡に開催された。各プログラム共、当初の期待を超える成果を挙げる事が出来—ものと思われる。

1. 大会のコンセプト

「Be a Friend」と云う本年度RIテーマに則り、楽しい地区大会を、然して華美に亘ることなく、簡素な様式に、と云う中野ガバナー方針に基づき、折りしも関西国際空港の開港の年に当り、国際都市大阪の誕生を期に文化の再生を希って、一地域文化の掘り起こし—「関西文化のルネッサンス」を本大会のコンセプトとして準備を進めた。

2. プログラム

RIにより定められたプログラムを実施する傍ら、上記コンセプトに則り、次の事業を行った。

- ① シンポジウムは「地域文化の掘り起こし—関西文化のルネッサンス—」をテーマに、行政、ジャーナリスト、文芸評論の三者によるパネルディスカッションにより、未来関西の再生を探るころみをした。
- ② 家族のつどいは「サントリーミュージアム」へ案内し、立体映像アイ・マックスシアターを見学し、近代文化に接していただく機会とした。
- ③ 記念講演には、建築家の安藤忠雄氏をお招きし「阪神大震災を機に都市を考える」と題して、スライドによる熱のこもったお話を頂き、会員各位から好評を博した。

- ④ 本会議当日会場にて「チャリティーサンドウィッチ」を販売したところ、多大の協賛を得るところとなった。当日の売上金プラスを地区大会名義で被災留学生支援募金に入れることにした。

3. 反 省

本大会は阪神大震災の惨事に遭遇したこともあり、準備段階でプログラムの変更を余儀なくされた。

中でも慣習とされていた、お弁当、エンターテイメント、及び親睦ゴルフ大会に変えるエキスカージョンを取り止める次第となったが、大方のご理解と地区ロータリアン各位のあつい友情に支えられて、大会が開催されたことに深甚の感謝を捧げたい。

尚、今後ロータリーの地区大会は、よりシンプルな様式にて、会員をはじめ、関係者に出来る丈負担をかけずに進められるべきものであると考えられる。

4. 来年度への申し送り

本年度の詳細資料は、クラブに保管しておきますので、何時でもご覧頂くべく、ご参考に供します。

そして来年度の地区大会が更に実りある大会になる事を切に祈ります。

以 上

阪神地震災害救援対策委員会

本部長	ガバナー	中野 董 夫	(大阪 阪南)
副本部長	ガバナー・パト	熊澤 忠 躬	(守 口)
副本部長	パト・ガバナー	松本 良 諄 (職業奉仕部門担当)	(大阪 東)
	パト・ガバナー	廣瀬 勘一郎 (社会奉仕部門担当)	(大阪 西南)
	パト・ガバナー	菅生 浩 三 (青少年奉仕部門担当)	(大阪 北)
委員長		新津 敬 直 (社会奉仕委員会ガバナー)	(大阪 西)
副委員長		岡本 克持郎 (ガバナー委員会 副委員長)	(大阪 城南)
		芝 盛 久 (社会奉仕委員会 副委員長)	(箕面 中央)
		板垣 美 一 (青少年活動委員会 副委員長)	(大阪 住吉)
委員		小池 明 (ガバナー委員会 委員)	(茨 木)
		有賀 一 夫 (青少年活動委員会 委員)	(大阪 住之江)
		吉山 公 (前社会奉仕委員会 委員)	(大阪 中央)
担当地区幹事		小山 隆 三 (地区代表幹事)	(大阪 阪南)
		四 碓 行 雄 (地区代表幹事 補佐)	(大阪 阪南)

2月3日に中野ガバナーを本部長として、阪神大震災災害救援対策本部が設けられました。

1) 義 援 金

募集は以前にガバナー事務所より通達が出されたのですが、各RCで義援金一口3,000円と誤解されたRCが多く、遅々として進まず、再三3,000円ではなく、追加をお願いしましたところ、さすがロータリーでどんどん集まりました。5月10日現在で44,360,126円が集まりました。

支出は2680地区に20,000,000円

震災支援京阪神地区大学グループへ3,000,000円

あしなが育英会震災孤児口へ3,000,000円

社会奉仕委員会主催「身障児等とロータリアンとの仲よし運動会」へ豊中庄内
小学校被災児招待 68,900円

青少年活動委員会主催「ニコニコキャンプ」へ被災児招待300,000円

残高 8,058,890円

2) 事業

上記の振り込んだ事業の中で、大学グループは大阪市立大学生生活科学学部を中心として被災地における栄養改善のための救援活動、社会福祉施設での活動、被災者への心理相談活動を行い、5月17日には芦屋市立養護老人ホーム和風園にロータリアン学生と共に参り、園遊会形式でゲーム、談話に打ち興じ共に小学唱歌を歌い、皆様の感動を得ました。入園者の半分は被災者です。今後も次々と奉仕活動を進める予定です。

ラジカセ、プレート等寄付

3) 体験記

各マスコミに先がけて、体験記を募集したのですが、やっと集まり、制作の運びとなり2660地区は勿論、2680地区、その他海外でも読んで頂くつもりです。

空室、会社の寮等募集したのですが、仮設住宅の入居状況でお分かりの様に、神戸を離れるのを嫌がる方が多く、希望者がありませんでした。八尾中央RCで29名の方々をお世話下さり、今も引き続き御苦勞をかけています。

いよいよ震災地において、救急・救助の 때가 過ぎ、復旧に入り、今や復興・再建の段階に入りました。今後はロータリーなればこそという中長期的な対策を講じる時となりました。

